

Ambitious

アンビシャス100人の仕事

2026年春夏号

Vol.26

高校生の進路と向き合う

公務員

国際

IT・モノづくり

くらし・生活

医療・生命

キャリア教育マガジン

36人の
先輩が登場

「好き」「楽しい」が、進路選びにつながる理由。

地球温暖化問題に向き合い日本の脱炭素を進める

SNSで総領事館の活動を発信

海外企業の日本進出を支援

テレビ美術でドラマの世界を彩る

キャラクター商品で作品の世界観を届ける

患者の想いと人生に寄り添う看護

表紙撮影協力：東京外国語大学(2025年撮影)

外務省
職員国際色豊かな学生時代の経験が
領事館の仕事の土台にAMBITIOUS
#397

外務省学生向けX



外務省

https://www.hk.emb-japan.go.jp/itrtop_ja/index.html

在香港日本国総領事館 広報担当

伊野 つづみさん

国際基督教大学

教養学部 アーツ・サイエンス学科 卒業
(アジア研究メジャー)世界と
つながること

関連キーワード 外務省・国際交流・広報

オープンキャンパスで感じた
雰囲気

中学生の頃から英語がとても好きで、将来は海外に関わる仕事がしたいと考えていました。国際基督教大学(ICU)のオープンキャンパスに参加した際、机が移動式で自由にディスカッションができる環境が整っていることを知りました。その柔軟で開放的な雰囲気に惹かれ、進学を決めました。

大学での気づき

大学では、様々なバックグラウンドを持つ学生や先生方と接する機会がありました。特に印象に残っているのは、真面目な話をしても誰も茶化さず、最後まで真剣に聞いてくれる雰囲気があったことです。所属していたディスカッションサークルには留学生も多く、宿舎では寝食をともにしながら意見交換をしました。日常の会話の中でふと深い話題を出しても、きちんと受け止めてくれる。そんな環境だったからこそ「相手の意見に耳を傾ける」という姿勢が自然と身についたと感じています。

宗教観の違いから学んだこと

キリスト教を熱心に信仰する留学生から「宗教のないあなたは何を信じて生きているの?」と問われたことがあります。無宗教の家庭で育った私にとっては、日常で考えたこともない問いでした。この経験を通じて、世界には多様な価値観があり、宗教が基盤となっている国も多いことを実感しました。今の仕事で外国の方と接する際にも、この気づきが役立っています。

領事館での仕事のやりがい

私は、祖母が中国で育った背景もあり、日中関係に携わりたいという思いで外務省を志望しました。現在は在香港日本国総領事館で広報を担当し、FacebookやInstagramなどSNSの運営を通じて、総領事館の活動を身近に感じてもらえるよう発信しています。国と国との関係に関わるスケールの大きな仕事にやりがいを感じますし、世界各地で経験を積んだ同僚たちとの出会いも刺激的です。外務省の仕事は、日本と海外を行き来するため、海外の文化に興味がある方や

語学の勉強が好きな方が向いていると思います。

学生時代の体験は貴重な財産

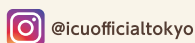
学生の皆さんには、今目の前にあることに一生懸命取り組んでほしいと思います。進んだ道で思いがけない楽しさに出会うこともあります。私自身、大学時代に様々な国の留学生と交流する中で、海外への思いはますます強くなりました。社会人になった今、ICUほど多くの国の留学生があたり前のようにいる環境は、なかなかないと感じています。海外で働きたいと思っている方は、学生のうちに積極的に留学生と関わり、たくさんの思い出を作ってください。



現地の方々に日本を身近に感じてもらえるよう、日々の広報活動に取り組んでいます

文理の枠を超えた、少人数・対話型の
リベラルアーツ教育

【パブリックリレーションズ・オフィス】
0422-33-3058



ICU 国際基督教大学
INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY



公正取引
委員会
職員

大学時代のたくさんの出会いが 公正取引委員会での今につながる

AMBITIOUS
#398



公正取引委員会

<https://www.jftc.go.jp/>

官房参事官付

戸崎 聖也さん

明治大学

政治経済学部 経済学科 卒業

探究

関連キーワード 内閣府・法務省・検察庁・防衛省

公正取引委員会の仕事は 経済発展に寄与し 特定の業界に縛られないもの

公正取引委員会の官房参事官付という部署にいます。公正取引委員会への入局を考えたのは、大学3年次に参加した全庁庁が集まる説明会でした。「選択肢が多いことは、豊かであること。競争が機能している＝選択を増やすことになる。だからこそ、経済発展には競争環境の整備が必要」という主旨のお話を聞きました。公正取引委員会は「日本の経済発展に寄与でき、特定の業界に縛られない広い仕事」だと知り、興味がわきました。

明治大学「行政研究所」で 刺激を受けて

中学・高校時代から漠然と国家公務員を志望しており、大学時代も公務員試験の勉強ができる「行政研究所」に所属していました。2年次には、コロナ禍に突入。気持ちが沈みそうでしたが、「行政研究所」の仲間が高いモチベーションを持って目標に進んでいました。そうした雰囲気は刺激になりましたし、勉強に打ち込むこと

につながったと思います。

先輩方のリアルな声や 実務に直結する講義での学び

「行政研究所」では、公務員試験の学外講座を受けられます。公務員試験の予備校でも教鞭を取っている先生の講義は、とても有意義でしたし、質問もしやすかったのをよく覚えています。実際に国家公務員として働いている先輩と会うこともでき、リアルな声を聞くこともできました。加えて、大学での学びの中では「経済法」という講義が印象に残っています。もともと公正取引委員会に勤めていた方が先生で、実務に直結するようなお話をしてくれていました。その時間が社会に出た今に活きています。

大学時代のたくさんの出会いが、 これからの糧に

明治大学は先生との距離が近く、学生へのサポートも手厚い学校です。学問の幅が広く、選択肢も多い。そういう環境だったからこそ大学時代には、人やものごと、たくさんの出会いがあり、卒業後の目標を見つけ

ることにつながりました。みなさんも興味を惹かれるものがあつたら、ぜひ一歩を踏み出してみてください。

自分の一番を決めて 突き詰めていける人材に

現在は、公正取引委員会が行っている主な事業を評価する業務についています。どこが良かったのか悪かったのか。次の課題を見つけてレビューをする日々。異動して間もなく、まだまだ初心の気持ちですが、いろいろなことを経験しながら、自分の中での一番を決めて、突き詰めていける人材になりたいです。



経済発展に寄与し、特定の業界に縛られない公正取引委員会業務を行っています。

「世の中を治め、人民を救う」ために

【入試広報事務局】03-3296-4139



@meiji_admission



@meijiexam



防衛
装備庁
職員社会的・政治的な側面を見据えた研究がしたくて
防衛装備庁で研究職になる道を選んだAMBITIOUS
#399

防衛装備庁

<https://www.mod.go.jp/atla/>
艦艇装備研究所 海洋戦技術研究部
海洋戦闘指揮研究室
沖田 勉さん

中央大学大学院

理工学研究科 精密工学専攻 修了
中央大学
理工学部 (現:先進理工学部)
精密機械工学科 卒業
都立小石川中等教育学校 出身



未知を楽しむ

関連キーワード 防衛装備庁・研究職・技術開発

機械系の学科で講義を受けながら
サークルではロボットを製作

大学では機械系の学科に所属し、講義で理論を学びつつサークル活動ではロボット製作に打ち込みました。大学の勉強は応用的な内容まで含まれるため、その知識を実際に手を動かして形にしていける過程はとて面白かったです。理論で学んだことを実践で確かめ、試行錯誤しながらものづくりをする経験は、機械系の技術を磨く上で貴重な体験となりました。

違う分野を知ることで
見えたこと

大学院では生命科学を扱う、機械系の専攻の中では異色の研究室に所属しました。理学や薬学など、工学以外のバックグラウンドを持つ研究者と共に研究する環境で、分野が変わると「当たり前」の感覚も異なることを実感しました。例えば、機械系では条件を揃えればほぼ同じ結果が得られますが、生命科学系ではコントロールしきれない要素が多く、結果に幅が出ることが新鮮でした。そうした全く違う物差しを知り、互いの発想を共有できたことはとても良い経験になりました。この時に広げた視野は、

今の仕事で専門外の分野を理解する際にも役立っています。

公務員の道を知ったOB訪問

学生時代に研究室にOBの方が訪問され、公務員の研究所という選択肢があることを初めて知りました。ただ当時は公務員になろうとは思っていなかったため、一度民間の企業に就職しました。しかし次第に携わる製品の背景を知りたいと考えようになり、根本を辿る中で外交や政治にも関心を持つようになりました。そこで大学時代の記憶を思い出し、技術の背景にある社会的・政治的な側面まで見据えながら研究できる場として、防衛装備庁への転職を決意しました。やりたい研究を追求した結果、今の職場という選択肢に辿り着いたのです。

研究できる場所として
選んだ職場

現在は艦艇装備研究所(東京都目黒区)で、自衛隊の艦艇や潜水艦に使用される技術の研究開発を担当しています。世の中にある先端技術を実際の装備品にどう取り入れるかを考える仕事です。自分たちで手を動かして機械を試すこともありますが、実際に船に積み込むためには、

製造企業やメーカーと協力して開発を進める必要があります。そのため、もちろん所内での研究も行いますが、技術仕様を固めて書類を作る作業や、企業と調整することも重要な業務です。この仕事のやりがいは、常に新しい技術を幅広く学ぶことです。先端技術を追う責務があるのはもちろん、同僚たちが積極的に勉強会を開いたり、雑誌の中で技術や科学の話をしたりする機会が多く、日々刺激を受けながら知識を深めています。

どんな道でも経験は必ず活かせる

この仕事に向いているのは、一つの専門を持ちながらも他の分野にも広く関心を持てる人です。寄り道も一本道も、どの道を選んでも進んできた経験は生きてきます。ちょっと失敗したと感じる時があっても前向きに捉え、自分が拾ってきたものを大事にしてください。



調整業務や書類作成も、新しい技術を防衛装備品に適用するために欠かせない仕事です。

中央大学理工学部は2026年4月
「基幹理工学部」「社会理工学部」「先進理工学部」の3学部へ

【入学センター(入試課)】042-674-2121



@chuo_admission



@chuo_admission



中央大学
CHUO UNIVERSITY
— Chuo University since 1962 —



検察庁
職員“素朴な正義感”を忘れずに
真相解明につとめる仕事AMBITIOUS
#400

法務省

<https://www.kensatsu.go.jp/kakuchou/kyoto/index.html>
京都地方検察庁 交通部

佐藤 真央さん
(取材日: 2025年5月)

青山学院大学

法学部 法学科 卒業

どんな経験も
力になるよ!

関連キーワード 法務省・検察庁・公務員・法律

映画やドラマがきっかけ
法律の仕事への憧れ

私が法学の世界へ憧れを持ったきっかけは、高校生の時から法律関係の映画やドラマを観ることが好きで、法律の仕事がかっこいい職業だと感じたことです。大学では弁護士を目指し法学部へ進学。司法試験合格後の司法修習で、検事の仕事を内容を知り検事の道へ進もうと決しました。自ら捜査して事件を解明する仕事に惹かれたことに加え、世間から見たら決して優等生とはいえない同級生が多かった中学校時代、「みんなにも良い面がある」と感じた経験から、検事はその思いに向き合える仕事だと思ったことも理由です。

仕事で生きる
“青山スタンダード”の学び

仕事では大学の学びが大いに活かされています。理由は、一般教養の授業が多く、幅広い分野の学問を学べたからです。青山学院大学では「青山スタンダード」という考えのもと、学部に関係なく受講できる一般教養の授業が充実しており、さまざまな知識を習得できました。仕事では多様な分野の専門家から話を聞くとときもあり、その際、一般教養で得た知識が話の土台となっています。法学

に留まらず多分野を学べたことが、今の仕事に活かしています。

検察官の仕事とやりがい

仕事は捜査と公判という二つの軸があり、捜査では様々な事件を担当しました。真相解明に向けて被疑者や被害者から話を聞く中で、女性検事だからこそできた経験もありました。公判部に所属していた際、裁判に証人として出ただく女性被害者にお会いし、裁判の流れを説明したり、お話ししていただく内容を確認しました。その女性には、事件の影響で外に出るのが怖くなってしまいましたが、カウンセラーの方に同席していただくなど、精神的なフォローをしながらお話を伺いました。その結果、裁判が終わった後、「社会とのつながりを再び持てたと感じられたので、お会いできてよかったです」と言っていただけでした。この仕事をできてよかったと思える瞬間でした。

“素朴な正義感”を持つ

日々の仕事のなかで大切にしているのは「素朴な正義感を持つこと」。これは、私が最初に配属された部署で教えてもらった言葉ですが、過度に強すぎる正義感ではなく、「これは常識的に考えてよくないよね」と普通の人が思うこと

に対して、きちんとおかしいと言えるような素朴な正義感を持つことだと思っています。真実の発見が第一となる検事の仕事では、間違いがないよう徹底的に証拠を集めた上で、素朴な正義感によってバランスの取れた適切な判断をすることが大事だと考えています。

どんな経験も力になる

学生のみなさんへ、「どんな経験もあなたの力になるよ」と伝えたいです。私は失敗を重ねてきました。大学受験は浪人して入学、ロースクールでは半期留年、司法試験合格後もすぐに司法修習を受けず一年間留学しました。順調とは言えない道のりは失敗の連続に見えますが、これらの経験が私を大きく成長させ、仕事でも「あの経験が役立っているな」と感じる場面があります。どんな経験も必ず力となります。うまくいかなくても心配せず、前向きに日々を歩んでください。



真実を話してもらえると、まずは自分自身が誠実な人となることを心がけています。

法の知識と思考技術を
社会に活かす“智慧”へと高める

【入学広報部入学広報課(青山キャンパス)】
03-3409-0135



@AoyamaGakuinU



@aoyamagakuinuniversity



金融庁
職員社会のインフラである銀行を支え
金融の安定を守るAMBITIOUS
#401

金融庁

<https://www.fsa.go.jp/>
 監督局銀行第一課
 石原 佑夏さん

立教大学

社会学部 現代文化学科 卒業

学びと経験は
未来への「投資」

関連キーワード 金融・行政・社会インフラ

幅広い学問の海へ。
社会学部という選択

進学先を考えたとき、特定の分野に絞って学びたいというよりは、むしろ多様なジャンルに触れたいという思いがありました。そんな私にとって、さまざまな事象を多角的に捉える社会学は非常に魅力的で、中でもよりジャンルレスに学べる立教大学の社会学部現代文化学科へ進むことを決めました。将来やりたいことが明確でなかったからこそ、まずは社会を広く知ることから始めよう。それが私の大学選びの軸でした。

大学で得た
多様な視点と調査・考察力

大学では、宗教やジェンダー、犯罪といった多様な切り口から社会を読み解く授業が多く、刺激的でした。特に印象的だったのは、青年期の価値観の変化を社会の変動と結びつけて考察する授業です。自分自身の世代が社会の中でどう位置づけられているのかを客観的に知ることができ、面白かったです。また、ゼミでは地域社会学を学び、団地の建て替えについての住民アンケートの結果や文献を基に、課題や現状を

考察する経験をしました。この経験は、複雑な事象から課題を抽出し、解決策を考える現在の仕事にも通ずるところがあると感じています。

震災の経験から芽生えた、
公務員への思い

就職活動を目前に控えた大学3年生の時期に、自分の関心はどこにあるのかを改めて考えました。そこで思い出したのが、宮城県仙台市に住んでいた頃に経験した東日本大震災です。社会が危機的な状況に陥った際、人々の生活の根幹を支えていた行政の役割に意義を感じ、公務員を目指して勉強を始めました。中でも、誰もが利用するインフラである金融の世界に、より高い公共性を感じ、金融庁を志望しました。

日常生活に不可欠な銀行を
ルールで支える仕事

現在は金融庁で、メガバンクなどの監督業務に携わっています。銀行が法律やルールに則って健全な運営を行っているか、日々のやり取りを通して確認するのが私たちの仕事です。たとえば、銀行が新しい事業を始める際、法律上、金融庁の認可が必要な場合は、審査

を行います。専門的な知識が求められ苦勞することもありますが、銀行の方々と信頼関係を築きながら協力して一つの案件を成し遂げたときや、自分が関わった取り組みがニュースになったときに、大きなやりがいを感じます。

経験の一つひとつが
未来を創る材料になる

学生の皆さんには今しかできないことを存分に楽しんでほしいです。留学で新たな価値観に触れたり、アルバイトやサークル活動で仲間と協力したりと、どんな経験も将来の進路を考える上で大切な材料になります。私自身、過去の経験や周りの友人との関わりの中で、自然と今の道を選んでいました。さまざまな経験を通して自分を知り、納得のいく未来を見つけていってください。



銀行の健全な運営のために日々のやり取りを通して監督。国民生活の安定に貢献します。

多様な視点で社会を捉え、
自ら考えて行動する人材を育てる

【入学センター】03-3985-2660



@rikkyouniv



@rikkyouniv

立教大学
RIKKYO UNIVERSITY

環境省
職員地球温暖化問題に向き合い
日本の脱炭素を進めるAMBITIOUS
#402

環境省

https://www.env.go.jp/

大臣官房

地域脱炭素推進審議官グループ

地域脱炭素事業推進課

田栗 広崇さん

(取材日: 2026年3月)

日本大学

経済学部 経済学科 卒業



関連キーワード 環境省・地球温暖化・脱炭素支援

日本一の規模の環境で
公務員への就職を見据えて

日本大学に進学を決めたのは、学生数の規模感と、公務員就職者数がトップクラスで公務員を目指すカリキュラムなど環境が整っていることに惹かれたためです。入学後は全国から集まったたくさんの同級生と出会い、世の中の広さを実感しました。日々の授業やゼミの活動のなかで仲間と切磋琢磨した経験が最も印象に残っています。課題を解決するためにこういった情報を集める必要があるのか、スケジュールをどうするのか、役割分担をどうするのかなどを常に逆算して考えることは、いまの仕事でも組織のなかで働くうえで役立っています。

幼少期の自然好きが原点
地球温暖化問題への関心から
環境省へ

元々幼少期から自然が大好きで、山に行けば虫捕り、海に行けば磯遊びや釣りをよくしていました。就職先を考えるようになったとき、地球温暖化問題がメディアで取り上げられる状況を見て、日々深刻化している気候変動問題

や自然環境破壊問題などに取り組みたいと考えたことから環境省に就職しました。

数百億円規模で地域を支援
日本の2050年目標達成を目指す

現在は環境省のなかでも地域脱炭素事業推進課という部署で、「地域脱炭素推進交付金」の交付に関する業務を担当しています。この交付金は、民間企業と協力して、意欲的に脱炭素に取り組む地方公共団体等(県や市町村などの地方自治体等)を継続的に支援するための制度です。日本は地球温暖化対策のために、2030年度目標として「温室効果ガスを2013年度比で46%削減」、2050年カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする)を掲げています。この仕事のやりがいは、世界的な地球温暖化問題における日本の目標達成を目指して、単年度予算で数百億円規模の事業に携われることです。また現在の部署は地域脱炭素に関する業務ですが、今後の異動先でさまざまな環境問題の業務に携わることができるのも魅力だと感じています。

環境問題への思いが大切
小さな行動から一歩踏み出して

環境省の業務は脱炭素、循環経済、自然環境の保全、福島復興など多岐に渡ります。どれも私たちの生活に関係する大事な仕事です。環境省に入るためには、専門知識が必要と思われるがちですが、必ずしもそうではありません。環境問題に少しでも興味があつたり、環境省がどんなことをやっているのか興味がわいたら、環境省のHPをしてみるなど小さなことから行動してみたいです。



交付金の業務を通して、地域の脱炭素の取り組みを支援しています。

経済学の理論から実戦まで、
経済・経営・会計を体系的に学ぶ。

【学務部入学課】03-5275-8001



@nihon.u.koho



@nihon-u.nyushi

自主創造
日本大学

自分自身で限界を決めない！
一步上の目標を作ろうAMBITIOUS
#403

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

大臣官房人事課

池川 琴胡さん

専修大学

人間科学部 心理学科 卒業

彩りを与えて
くれるもの

関連キーワード 国家公務員・人事・労務

公務員への夢が明確となった
大学のボランティアサークル

高校生の時から、人の役に立つ仕事がしたいと思い公務員もいいなと漠然と考えていました。大学のボランティアサークルで宮城県石巻市に行き、復興支援活動をした経験がきっかけで、その思いは志望に変わりました。現地の町並みを見て被災した方々とお話したこと、同じ日本人としてできることをしたい、日本の暮らしを良くしていきたいとの気持ちが強まり、公務員をめざすようになりました。

沢山助けられた大学の就職支援

将来は公務員への道も選択できるように、公務員試験講座が充実していた専修大学に惹かれ進学を決めました。最初は将来の選択肢を広げたいという思いで講座に参加していましたが、被災地でのボランティア経験で志望が変わってからは、学びの全てが貴重で大きな支えとなりました。さらにキャリアセンターでも徹底した面接対策など手厚いサポートをしていただきました。公務員試験講座やキャリアセンターでの準備のおかげで、無事に

夢を叶えることができた深く感謝しています。

心理学科での学びが生きる

私は大臣官房人事課で、異動処理や昇給・昇格に関する業務を担当しています。日々多くの人と接するなかで、程よい距離感を意識することを心がけています。大学の心理学科で学んだ知識が、人間関係における適切な関わり方として役立ち、良い信頼関係につながることを実感しています。心理学の学びが多くの仕事の場面で活かされていることに驚きと嬉しさを感じています。

仕事のやりがい

“周囲の人の力になれた!”と思える時にやりがいを感じます。以前、採用業務のお手伝いで大学生向けに省内ツアーを実施し、学生の引率を担当しました。参加した学生へのアンケートに“引率者の雰囲気がとても良かったので楽しく見学することができた”と書かれていました。あの時の嬉しさは今でも忘れられません。今後も誰かのためにという気持ちを忘れず日々邁進していきたいです。

一步上の目標を持つこと

私は常に目標を持つことを大切にしています。目標に向けて努力する過程で得られる達成感や学びは、人生の大切な財産になるからです。そして目標は少し高めに設定することが重要だと思います。私自身、公務員をめざす中で国家公務員は無理だろうと思っていましたが、挑戦した結果、実現できました。その経験から、自分で限界を決める必要はないと学びました。皆さんもぜひ、少し高めの目標を掲げ、努力の過程を楽しみながら夢を実現してほしいと思います。



“誰かのために”という気持ちを忘れず、常に目標をもって日々過ごしたいです。

創立146周年を迎える、
社会・人文科学系の総合大学

【入学センターインフォメーション】03-3265-6677



@senshu_univ_ao



@senshu-u



専修大学



区役所
職員社会を知ることから公務員の道へ
スポーツ振興の仕事AMBITIOUS
#404

杉並区役所

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/>
区民生活部 スポーツ振興課
森谷 陸人さん

専修大学

人間科学部 社会学科 卒業
都立城東高校 出身



相手の立場に立ち、
思いやりを持って動くこと

関連キーワード スポーツ振興・駅伝大会・企画運営

社会学を通して多角的な視点を

高校時代は自分が社会について無知だと感じていました。転機は専修大学のオープンキャンパスで受けた「ポップカルチャー論」の模擬授業です。その自由で楽しい雰囲気と、社会を多様な視点から学べることに惹かれて進学を決めました。一番の学びはゼミでの「集団極化」の研究です。人々が集団になると極端な意見へ向かう現象の要因を研究しました。数値データを用いて多角的に分析する過程で、安易に答えを出さず一旦立ち止まって考える重要性を学びました。

公務員試験講座に打ち込んだ
大学時代

大学の4年間で何か打ち込めるものがほしいと考えていたとき、入学直後に公務員試験講座の説明会があり、公務員の魅力を知って受講を決めました。私が受講していたときは、基本的に5・6限に講座があり、1年次は隔週で数的処理、2年次以降は週3回に増えて憲法・民法・行政法などの法律系科目や経済学、3年次の後半から総復習をして4年次で面接対策をする流れでした。苦手意識のあった数的処理も講師の角度を変えた解き方によ

りスツと理解できたことや、面接対策で親身に見ていただいたことが印象に残っています。学びを深めるなかで意欲も高まり、就職は公務員一本で頑張ろうと考えようになりました。

杉並区で
スポーツ振興に取り組む

地方公務員は住民に近いところで行政サービスを提供できる点と、事務からスポーツまで幅広い仕事を経験できる点がよいと考えました。杉並区を選んだのは、陸上サークルの活動で区内の競技場を利用した際、駅から競技場までの街の雰囲気に直感的に惹かれたためです。説明会での職員の穏やかな対応も決め手でした。現在はスポーツ振興課で、オリンピック、パラリンピック出場選手を招いたイベントや障害のある方を対象としたイベント、駅伝大会の企画・運営に携わっています。業務ではサークルで培った対人能力や、ゼミで学んだ多角的な思考が生きています。やりがいを感じる瞬間は、現場で人々の生き生きとした表情が見られたときです。特に障害のある方が自由にスポーツを楽しむ姿や、アスリートと触れ合う子供たちのまぶしい笑顔を見ると、今の部署で働けて本当に良かったと感じます。

自分のペースで
多くの経験を積み重ねて

勉強も大切ですが、面接で見られるのは最終的には一人の人間としての「人となり」なので、ぜひ多くの経験を積み重ねてほしいです。私も杉並区で、周囲の温かい先輩方に支えられながら、働きやすい環境で自分らしく業務に取り組んでいます。何かを成し遂げるには、心と体のバランスを整えることが大切です。焦らず自分のペースで目標に向かって進んでいってください。



子供から大人、高齢者や障害のある人々の生き生きとした表情を見ることがやりがいです。

創立146周年を迎える、
社会・人文科学系の総合大学

【入学センターインフォメーション】03-3265-6677



@senshu_univ_ao



@senshu-u



東京
航空局
職員国の立場から「空港」を通じて
自治行政に携わるAMBITIOUS
#405国土交通省
東京航空局<https://www.cab.mlit.go.jp/tcab/>

東京空港事務所

総務部 環境地域振興課

木村 広弥さん

神奈川大学

法学部 自治行政学科 卒業



新たな価値の創造!

関連キーワード 羽田空港・自治体・空港事務所

横浜が好きな気持ちから
自治行政の世界へ

自分が生まれ育った横浜の街並みが大好きで、歴史あるものを残した街づくりに誇りを感じてきました。高校生の頃に街づくりの主体が自治体だと知り、「横浜市の職員になれば携われる」という考えから行政サービスや地方自治に興味を持ちました。神奈川大学法学部へ進学したのは、自治行政学科という全国有数の学科で学べる環境が決め手です。キャンパスが自宅から近かったことも後押しとなりました。入学後は行政法や地方自治法を学び、ゼミで判例を掘り下げて仲間と議論しながら法の背景や経緯の理解を深めたことが思い出深いです。「行政サービスは人々の幸せのためにある」という考え方の土台が培われました。

国の立場から
地方自治に関わる仕事

3・4年生で公務員試験の予備校に

通い、大学卒業後も「もっと大きな視点で行政を学びたい」という思いで勉強を続けながら、公務員として具体的に何をしたいのかを模索しました。地方自治法や行政法は国の法である憲法にもとづいているとわかり、国家公務員にも興味を持ちました。国家公務員の一次試験に合格すると「官庁訪問」という省庁の理解を深められる機会があります。官庁訪問で東京航空局の仕事を知るなかで、世界の玄関口である空港が周辺地域の発展や整備に大きく関わると知りました。東京航空局なら国の立場で大きな視点を持ちつつ、自分がこれまで学んできた自治行政にも携われると考え、「ここで働きたい」と心が決まりました。

航空の領域で
住民の安心を守る

入省後は九段下の庁舎や霞ヶ関の本省を経て、現在は羽田空港の事務所で、飛行経路の情報提供や騒音対策といった自治体との調整業務を担っています。自治体と連携し

て住民の方々に正確な情報を届け、暮らしの安心を支える責任ある仕事です。情報が地域住民の役に立ち、誰かのための働きができていると実感できる瞬間にやりがいを感じます。大学で学んだ地方自治体の街づくりや行政の視点は、国の立場で多くの関係部署や自治体と協力して仕事を進める今の現場でも、確かな指針として活かされています。

無限の可能性を信じて挑戦して

皆さんには、無限の可能性を信じて恐れずに挑戦してほしいです。興味を持ったことは徹底的に掘り下げ、説明会や現場へ自ら足を運んで、直接話を聞いてみてください。私自身、軽い気持ちからの挑戦の先に、今の仕事との縁がありました。困難も自分をレベルアップさせる貴重な機会です。「誰かのために」という思いを大切に、自分を信じて羽ばたいて活躍されることを心から応援しています。

地域社会に応用できる
「思考力」を

【入試センター】045-481-5857



@ku_official



@kanagawa_univ

KU 世界へ、そして未来へ
神奈川大学

市役所
職員市民の力になりたい
市民の手助けをしたいAMBITIOUS
#406

羽村市役所

<https://www.city.hamura.tokyo.jp>
福祉健康部 障害福祉課 障害福祉係
青木 有紗さん

順天堂大学

国際教養学部 国際教養学科 卒業



挑戦。

関連キーワード 公務員・市役所・福祉健康・障害福祉

積極的に行動できる自分に
なれた短期留学

大学1年生の時に参加した2週間の短期語学留学の経験は大学で印象に残っている出来事です。この留学を通して、積極性が身についたからです。大学の語学プログラムで、私はセブ島に留学しました。現地では英語で生活する環境に慣れるまで、自分の会話力に恥ずかしさを感じ、なかなか自らコミュニケーションを取りにいけません。これでは留学が無駄になってしまう、これではいけない、という気持ちから、ミスしてもいいと考えを切り替え、自分から周囲に話しかけることに努めました。ネイティブの方は誰一人単語や文法の間違いを気にしませんでした。この経験から度胸がつき、帰国後もあらゆる場面で自ら行動でき、積極性が養えた大学の留学制度にとても感謝しています。

誰かのために働きたい気持ちが
公務員を目指すように

就職活動を開始したとき、働くうえでの自分の軸を考えました。当時、アルバイトで接客業を長く続けていた経緯もあり、接客業を軸に就職活動をしました。しかし

コロナ禍もあり、接客業での就職は困難でした。そんな中、両親が公務員であったことから、公務員の情報収集を始めました。気づいたことは、公務員は接客業ととても似ているということです。どちらも“誰かのために”という考えが一番にある仕事だと気づきました。この気づきが公務員を志望するようになったきっかけです。

“誰かのために”
自ら学ぶ姿勢を常に心がける

私は障害福祉課で、手当の支給や障害者手帳の交付などを担当しています。以前、聴覚障害のある方へ手続きのご案内を紙に書いて対応したところ、その方から「話者の口の動きを見て理解する方が、紙に書いてやり取りするより分かりやすい」と伝えられました。この経験以来、どんな対応が相手にとって望ましいかを考えるようになりました。私の仕事軸である“誰かのために”という点で、自ら学ぶ姿勢で業務に取り組むことを大切にしています。

失敗は成功の基
失敗を恐れず挑戦を！

高校生の皆さんに伝えたい言葉があります。それは、「失敗を恐れずに！」という

言葉です。私は大学の留学経験や仕事でのいろいろな経験を通して、失敗してもその失敗が必ず次のステップの糧となることを学びました。失敗のあった経験や仕事は、問題無く進んだものよりも学びの質が違います。私は、留学経験で、自分の英語のミスを恐れてコミュニケーションが取れなかった失敗があったからこそ、ミスを恐れずに、積極的に行動を起こすことの重要性を学べました。また仕事では失敗した業務があったからこそ、同じような状況になったときに、落ち着いて対処できるようになりました。失敗はありがたいものだという考えを持つことは良いことです。学生時代は自由に動ける身でもあります。だからこそ、今のうちに、いろいろなことに挑戦し続けて、できるだけ多くの失敗を経験してほしいと思います。失敗は成功の基です。失敗の数だけ皆さんを成長させてくれます。



相手によって望ましい対応を考えながら日々取り組んでいます。

「医療」と「英語」の専門知識で
グローバル人材を育む国際教養学部

【教務課】03-3813-3111

X @juntendo1838

Instagram @juntendo_1838



区役所
職員地域の子どもの笑顔と
健やかな育ちを支えるAMBITIOUS
#407

豊島区役所

<https://www.city.toshima.lg.jp/>
子ども家庭部 保育課 公立保育グループ
白石 馨澄さん

大正大学

心理社会学部 臨床心理学科 卒業
(現:臨床心理学部 臨床心理学科)

都立竹早高校出身



自分の「興味」を大切に!

関連キーワード 公務員・区役所・保育園支援

「知りたい」が学びの入口
未来への扉を開いた大学選び

高校時代に人の心の仕組みに興味を持ち、「面白そう」という純粋な気持ちから進路選びを始めました。臨床心理学の分野で歴史が深く、しっかり学べる環境があることに魅力を感じ、大正大学の臨床心理学部へ進学。当時は将来の仕事具体的に想像していたわけではありませんが、「知りたい」という気持ちを大切に進路を選んだことが、その後のキャリアを考える上での大きな一歩になりました。

日常に生きる「傾聴」の学び

大学での授業で特に印象に残っているのは、カウンセリングの実践練習です。グループワークで、相手の話を深く理解するための「傾聴姿勢」を学びました。これは、ただ話を聞くのではなく、相手の表情や視線、仕草なども観察しながら、言葉の背景にある思いまで汲み取ろうとする、共感的なコミュニケーションの技法です。「傾聴」は、カウンセリングの場における専門的なスキルであると同時に、友人や家族との日常的な会話でも使えるのだと気づきました。相手をより深く理解し、円滑な関係を築くための視点は、大学

での学びで得られた大きな財産です。

「人を支えたい」思いから
公務員へ

公務員を志したのは「人を支える」という特色が自分に合っていると感じたからです。よく足を運ぶ馴染みのある場所だったことや、ワークライフバランスが取れる環境だと感じたことから豊島区役所に就職。大学の講義で、公務員試験に向けた対策ができたことも大きな後押しになりました。専門的な学びと具体的なキャリア支援の両方があったからこそ、目標への道筋を描くことができたのだと思います。

たくさんの人と関わりながら
保育の現場をサポート

現在は事務職員として、公立保育園の運営を支える仕事をしています。子どもたちのための文化体験事業の企画や、園での検診や卒園に向けた物品の手配など、業務は多岐にわたります。区役所、保育園、イベントを実施する委託業者の方など、多くの人と連携して仕事を進める上で、大学で学んだ「傾聴」の姿勢が役立っていると実感します。園長先生から「ありがとう」と声をかけていただいたり、

保育園で子どもたちの笑顔を見たりしたときに、大きなやりがいを感じます。

「好き」の気持ちにまっすぐに
興味を追求し挑戦してほしい

これからどんな道に進むべきか、不安に思うこともあるかもしれません。まずは、自分の好きなことや興味があることに積極的に取り組んでみてください。私自身、心理学への興味から学びを深めていく中で、人を支える公務員の仕事という道を見つけました。大学生活の中でいろんなことに挑戦すれば、その先にきっとやりたいことが見つかるはずです。「好き」を追求した先に、皆さんの明るい未来があることを願っています。



子どもたちの笑顔にやりがいを感じながら、保育園の運営を事務の力で支えています。

「関わる」の本質を学ぶ

【代表】03-3918-7311

@TaishoUnv

@taishouniversity



大正大学



区役所
職員地域に寄り添うまちづくり
住民一人ひとりと共にAMBITIOUS
#408

世田谷区役所

<https://www.city.setagaya.lg.jp>

用賀まちづくりセンター

大塚 真由さん

帝京大学

法学部 法律学科 卒業

地域の人と進める
まちづくり

関連キーワード 公務員・区役所・まちづくり

「法律で社会を読み解きたい」
ニュースへの関心が原点

高校時代、実家で朝晩ニュースが流れているのが日常だったため、社会の出来事を追うことが自然と習慣になっていました。日々のニュースに触れるうちに、それらが法律とどう結びついているのかを知りたいと思うようになり、通いやすさも考慮して帝京大学の法学部へ進学。「世の中にはあらゆる法律が存在し、それらを学べば社会への理解も深まるはず」という思いが、私の進路選択の軸となりました。

ゼミで培った多角的な視点

大学で最も印象深いのはゼミでの研究活動です。私が所属していた民法のゼミは、研究テーマが「民法の範囲なら何でもOK」という非常に自由なスタイルでした。私はVTuberの法的な人格権というニッチなテーマを扱っていましたが、ほかにも家族法や土地に関する法律など、多様なテーマについて研究する仲間がいました。さまざまな考えを持つ仲間とともに、幅広いテーマについて議論を重ねる中で、物事を多角的に捉える視点が養われたと思っています。

地元の思い出がきっかけに
地域を支える公務員の仕事

キャリアを考える中で、地元の世田谷区に貢献したいという思いが芽生えました。小さい頃に参加したお祭りやマラソン大会に、実は公務員の方が関わっていたと知り、地域を支える仕事に魅力を感じたことがきっかけです。また、大学では公務員試験対策の講義や、キャリアセンターでの面接・論文対策といった手厚いサポートがありました。わからないことがあればすぐに直接質問に行ける環境は、目標を目指す上で非常に心強く、ありがたかったです。

背景を知り目的に立ち返る
学びの姿勢が仕事の土台に

現在は、世田谷区役所の「用賀まちづくりセンター」で、リサイクル活動や防災訓練といった地域イベントの企画やサポートを行っています。職員だけで進めるのではなく、地域の方々と一緒に、まちをより良くしていくのが私の役割です。多くの方と協力する中で意見が分かれたときは、そもそもの目的に立ち返ることを意識。この姿勢の

土台には、判例を深く調べ「過去の経緯」を理解した上で議論を重ねた、ゼミでの経験があると実感しています。

対話の機会を大切に、
たくさんの挑戦を

学生時代の経験は、どんなことでも将来の自分の糧になります。勉強以外にも趣味やアルバイトなど、さまざまなことに挑戦してほしいです。特に、人と話す機会を積極的に作り、自分の意見を伝える習慣を身につけることをおすすめします。私自身、カフェでのアルバイトを通してお客様と対話する中で、コミュニケーションの基本を学びました。その経験は、多様な方々と関わる今の仕事にも役立っています。ぜひ失敗を恐れずたくさんの経験を楽しんでください。



イベントに参加された方の笑顔や「楽しかった」という言葉が、何よりのやりがいです。

社会の法的ニーズに応える
知識を持った人材を育む

【帝京大学入試センター】0120-335933



@teikyo-univ



@teikyo_university



帝京大学



都庁職員

電気の知識で人々の移動を支える
都営地下鉄の施工監理AMBITIOUS
#409

東京都庁

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/>
交通局 車両電気部
電気総合管理所 設備改良工事区
山下 雅也さん

都立府中工科高校

電気科 出身

自分を信じて前進

関連キーワード 電気職・都営地下鉄・施工管理

両親や先輩の姿を見て
電気の世界へ

都立府中工業高校の電気科に進学したきっかけは、両親が電気や建築関係の仕事をしていた影響で幼い頃から物作りに興味があったこと、電気科に在籍していた地元の先輩から授業の話聞くうちにいいなと感じたことです。学校説明会や先輩の話から実習が多いと知り、実際に手を動かして物を作る学びに惹かれました。入学後は、実際に配線を組み、室内照明の電球がつくようにするなどの実習を経験しました。普段当たり前に使っている電気の裏側の仕組みを理解できたことが強く印象に残っています。

電気の知識を活かした
公務員という働き方

卒業後の進路として進学と就職で迷うなか、参加したガイダンスで公務員という職業を知りました。電気の知識を活かしながら、日本の代表的な大都市である東京でより多くの人の生活を支えられる仕事に大きな魅力を感じました。公務員試験の対策が必要と考え、卒業後は公務員コースのある専門

学校で学び、東京都の試験を受けて入庁しました。現在は東京都の交通局で、都営地下鉄の駅設備の工事監督を担っています。駅の照明や空調設備、カメラといった設備が安全かつ計画通りに新設・更新されるよう、工事受注者と調整し、現場を管理することが私の仕事です。日中は現場や事務作業のほか、週に一度は終電後の深夜に現場へ入り、電車が動いていない限られた時間で施工管理を行います。最近は大江戸線のLED化工事などを担当しており、一日に260万人以上が利用する都営地下鉄という移動インフラの最前線で汗を流しています。

実習の学びが
安全な運行を支えている

工事受注者と複雑な工程を進めるとき、実習で身につけた「丁寧な作業」や「手順の再確認」がトラブルを未然に防ぐ力になっています。私たちの仕事は表舞台でお礼を言われることは少ないですが、人々の当たり前の日常を陰から支える縁の下力持ちであることに誇りを感じています。自分の仕事が社会の基盤を確実に動かしているという実感が大きなやりがいです。

自己研鑽の先に
社会を支える仕事がある

学生の皆さんがこの仕事に就くなら、技術的な知識の習得と公務員試験対策が重要です。多くの関係者や工事受注者の方と関わるため、協調性や調整力がある人が求められます。勉強や試験対策で大変な時もあると思いますが、その先には多くの人の当たり前の生活を支えるような仕事があります。特に駅設備等のインフラに関わる仕事は、社会の安全や快適さを土台から支える達成感が格別です。自分が積み重ねてきたものを信じて、前進してください。



工事受注者と協力しながら、安全に設備工事が進むよう丁寧に作業しています。

手助けしあえる
仲間に出会える

【電話】042-362-7237

@fuchu_technology





AMBITIOUS #410

国際関係の

分野で活躍する先輩

ブランドプロモーション

日英両語で学び、専攻をじっくり選べる環境

高校時代、英語が得意だった私は、英語でも学びを深められる国際基督教大学に魅力を感じました。当時は将来の目標が明確に定まっていなかった私にとって、幅広く学んだ上で2年次の終わりに専攻を選ぶ独自の教育体制はぴったりでした。入学後は、英語でのディスカッションなどを通して学問を深める実践的な授業を経験。また、文系・理系問わず興味を持った分野に広く手を伸ばせる環境があり、視野を広げることができました。

多様な仲間と切磋琢磨する中で学んだ「共創」

国際基督教大学は、少人数教育でお互いを尊重し合う自由な風土がありました。ありのままの自分でいられて、いろんな人と一緒に成長していける環境だったと思います。大学のホールを学生が自律的に管理・運営する仕組みもあり、私は舞台芸術の課外活動に打ち込みました。多様な役割を持つ仲間と一つの目標に向けて切磋琢磨する中で、「共創」の大切さを学びました。現在の仕事でも、海外拠点やパートナー企業と目的を共有し、コミュニケーションを図りながら進める上で、この経験が活きていると感じます。

優れた技術の価値を世界へ発信

舞台芸術の活動経験からクリエイティブな仕事に惹かれ、前職の広告代理店に入社しました。BtoBメーカーのブランディングに携わる中で「世界に誇れる技術を持っているメーカーが、その価値を適切に伝えられればブランドはさらに強くなる」と実感。優れた技術を“伝わる形”にしたいと考え、メーカーの立場で自社の魅力を直接発信できる現職へ転職しました。現在は、世界62か国に拠点を展開する当社でグローバルなWebサイトの運用や、英語の広告記事作成など、コーポレートブランディングに携わっています。自社がサステナブルな社会づくりに貢献していることや、世界中に仲間がいると実感できることが日々のやりがいです。

アンテナを張り、自分を信じて進んでほしい

学生の皆さんには、何事にも興味を持って深掘りしたり、他者と共創したりする経験を大切にしてほしいです。私自身も、英語への関心や舞台芸術に打ち込んだ大学時代の経験が結果的に今のキャリアに繋がっています。進路に悩むこともあると思いますが、常に興味のアナテナを張り、自分を信じて進んでいってください。その時々で自分がやっていることや面白いと思うことを大切に過ごしていけば、その先にきっと、自分だけの道が見えてくるはずです。



サステナブルな社会に貢献する技術。そんな自社の魅力を世界へ発信しています。

世界に誇れる技術を「伝わる形」に企業の魅力を発信するブランディング

動き出せば、道は開ける。

横河電機株式会社

<https://www.yokogawa.co.jp/>

経営管理本部 統合コミュニケーションセンター

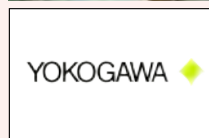
ブランドプロモーション部

磯山 茜さん

国際基督教大学

教養学部 アーツ・サイエンス学科 卒業

(政治学メジャー)



【関連キーワード】コーポレートブランディング・Webサイト運用・Web

文理の枠を超えた、少人数・対話型のリベラルアーツ教育

【パブリックリレーションズ・オフィス】
0422-33-3058



@ICU_JP



@icuofficialtokyo



ICU

国際基督教大学
INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY





AMBITIOUS #411

IT・モノづくりの

分野で活躍する先輩

設計

“学びたい”が叶う大学へ

私は社会科が好きで、社会学を学べる大学を探していました。そんな中、法政大学社会政策科学科は、社会学に加え経済学、法学、そして心理学という様々な観点からも社会問題にアプローチしていくことを知りました。多角的視野で社会問題を考えていく環境に“私のやりたいことはこれだ!”と強く惹かれ進学を決めました。

色々な意見を聞くことの重要性を教えてくれた日々の授業

多種多様な学問から社会問題について考える学びは、問題解決にあたり一つの意見だけを参考にするのではなく、様々な意見を参考にするものの重要性を教えてくれました。異なる立場・視点の方々の意見を取り入れることの重要性は、仕事においても、活きていると感じています。

地域貢献できる仕事を目指す

大学では地域活性化を目的としたボランティアサークルに所属し、イベント開催等から地域との交流を深め、住民の笑顔を生み出すことができました。地域貢献できたという実感はとても心地良く、地域貢献を軸とした仕事を目指すようになりました。そしてインフラ業界に関心を抱き、東京ガスネットワークに出会いました。地域に寄り添い人々の暮らしを支える仕事は私の想いに合致すると感じ入社を決めました。

母校への恩返しができる仕事

この仕事の魅力は、自分が関わった業務が地域の暮らしを支えていることを直接実感できる点にあります。今でも心に残っているのは、母校の中学校のガス管設計を担当した時のことです。仕事を通してこうして母校に直接恩返しできたことは大きな喜びです。

学ぶ姿勢があれば何でもできる

私は文系出身ですがガス管の設計業務に携わっています。設計の知識はゼロでしたが、専用の研修プログラムを受講し、さらに上司や先輩から教えてもらいながら、少しずつ出来るようになりました。こうした会社のバックアップもしっかりしているので、学ぶ姿勢があればどんなことでも成し遂げられることを感じています。皆さんも文系理系という枠にとらわれずに、自分のやりたいことがあれば、ぜひ挑戦してください。



仕事では色々な意見をしっかりと聞いて、最適解を見つけることを大切にしています。

自分の夢が明確になった大学での学び“地域のために”を実現できる仕事

枠に捕われず
チャレンジ!!

東京ガスネットワーク

<https://www.tokyo-gas.co.jp/network/index.html>

西部需要開拓部 設計G

松井 淑音さん

法政大学

社会学部 社会政策科学科 卒業



【関連キーワード】 企画開発・生活・インフラ・エネルギー

多様な学びの選択肢から、
社会問題の解決に挑む

【入学センター】03-3264-9300



@hosei_admission



@hosei_nyushi



法政大学
HOSEI University





..... AMBITIOUS #412

IT・モノづくりの

分野で活躍する先輩

建築設計・工事監理



未来はこれから

東日本旅客鉄道株式会社
(JR東日本)

<https://www.jreast.co.jp/>
首都圏本部 東京建築設備技術センター
津下 満月さん

日本女子大学
家政学部 住居学科 卒業
(現:建築デザイン学部 建築デザイン学科)
都立国分寺高校 出身



【関連キーワード >>> 公共建築・設計・街づくり・インフラ】

多くの関係者を繋ぎ理想の空間を形に
設計と調整を担う、建築監理の仕事

「文系」から「建築」の道へ。進路を変えた出会い。

小さい頃から部屋の模様替えや絵を描くことが好きで、また父が建築設計や街づくりに携わっていたことが、建築に興味を持ったきっかけです。自分が考えたものが形になっていく仕事に楽しさと憧れを感じていました。しかし高校では、理系の苦手意識から文系コースを選択。建築の世界は自分には縁がないと一度は諦めていました。そんな中、日本女子大学の住居学科であれば文系からでも受験できることを知り、「ここなら自分も建築を学べるかもしれない!」と、想いが再び動き出し、建築を自分の進路として目指すようになりました。

答えのない問いに挑んだ「設計課題」での気づき

大学の授業で特に印象に残っているのは、毎月取り組んでいた「設計課題」です。与えられたテーマに対してコンセプトを練り、図面を描き、模型を作って発表します。例えば、大学近くの敷地に街の人が利用できるカフェを設計する課題では、実際に現地へ足を運び、周辺環境や住民の暮らしを調査しました。同じ課題でも学生によってアプローチや完成形が全く異なり、建築の持つ無限の可能性を実感しました。答えのない問いに対し、自分なりの解を導き出す面白さを知りました。

多くの人の目に触れる駅や建築物を創るやりがい

現在はJR東日本で、駅舎や関連施設の建築物の設計・工事監理を担当しています。図面を描くだけでなく、社内の各部署や施工会社など多くの関係者と調整しながらプロジェクトを進めていく仕事です。関係者に完成イメージを共有し、納得してもらう必要がある中で、大学時代に自分の考えを図面やプレゼンボードに落とし込み、相手に伝える訓練をした経験が活きていると感じます。自分がイメージした空間が形になり、それを実際に使っているのを見たとき、大きなやりがいを感じます。

可能性は無限大「やり切る」経験が自信になる

学生時代は、ぜひ何か一つ「やり切る」経験をしてほしいです。苦戦しながらも考え抜き、最後までやり遂げた経験は、社会に出てプロジェクトを推進する際や、自分の考えを他者に伝える際の大きな力になります。文系だった私が建築の仕事に就けたように、可能性は無限大です。得意分野を伸ばすことも、苦手分野に挑むことも、自分次第で道は拓けます。自分の「やりたい」という気持ちを諦めず、さまざまなことに挑戦しながら前へ進んでいってください。



納得のいく空間を目指して日々図面に向かい、関係者と細かな調整を重ねています。

生活を「科学」し、
人類の豊かな幸福をつくり上げる

【入試課】03-5981-3786

@JWU_official @japan_womens_university





AMBITIOUS #413

IT・モノづくりの

分野で活躍する先輩

美術ディレクター

「作る楽しみ」を追求して彫刻の道へ

幼少期から工作が好きで、立体作品を学びたい思いで彫刻専攻のある高校へ進学しました。高校では石膏デッサンや、石膏像を模倣して彫る「模刻（もくく）」などの授業があり、さらに上達したい思いが強まりました。人体の塑像（そぞう）を深く学べる道に進みたいと考えて進学したのが東京造形大学です。3年次の「自由制作」で素材の縛りもなく自由に好きな作品を作る課題では、自分が彫刻を学んで何を表現したいのか、どんなものを作りたいのかを一から考えるきっかけになりました。上達を目指して彫刻の技術を磨くことに重きを置いてきたけれど、技術以上に自由に表現する楽しさが美術の原点だと気づいたことが、今でも自分の表現の土台となっています。

日常の「好き」から見つけたテレビ美術の世界

元々は教員志望でしたが、周囲の就職活動を機に、自分の学びを活かせる就職の可能性も探ることに。ふと、自分が好きで見続けてきたテレビにも美術が深く関わると気づき、テレビ美術の仕事を調べて今の道を選びました。現在はドラマの「美術進行」として、セット、衣装、小道具など多岐にわたる分野を統括し、モノを作るところから演出家やデザイナーと各美術専門スタッフとの間に立つ現場の美術監督のような役割まで幅広く担っています。演出の意図を正しく伝え、現場スタッフと円滑に連携して作品を形にする工程に、制作経験がコミュニケーションの糧として自然に生きています。

世の中に届く喜びと仕事を通じて広がる人生

自分が関わった美術が放送されるのを見ると、世の中に届いている実感が湧き、大きなやりがいを感じます。最近担当した時代劇では見る物全ての作り込みに感動する日々でした。学校の歴史の授業は得意ではありませんでしたが、仕事をきっかけに新たな興味も広がり、人生が豊かになっていく。作品作りの感覚を大切にできるこの仕事に携われてとても光栄です。

自分が普段していることに目を向けて

進路に悩むなら、私生活を振り返って無意識に続けていることを見つけてみてください。大切なのは、今しかできないことに勢いよく挑戦すること。私も学生時代にもっとやれば良かったと思うことがあります。自分の「好き」を信じて、広い世界へ踏み出してほしいです。



モノを作る大変さを知るからこそ、作り手の気持ちを汲み取る調整を意識しています。

日常にある「好き」に気づいてテレビ美術でドラマの世界を彩る



株式会社NHKアート

<https://www.nhk-art.co.jp/>

制作部ドラマ番組

新居田 理子さん

東京造形大学

造形学部 美術学科 彫刻専攻領域 卒業



NHK ART



美術ディレクター・
関連キーワード >>> テレビ美術・
メディア制作

横断的に学べるカリキュラムで
総合的な視点を育む美術大学

【進路支援課】042-637-8716



@TokyoZokeiUniv



@tokyo_zokei_univ_official



TOKYO ZOKEI UNIVERSITY





..... AMBITIOUS #414

IT・モノづくりの

分野で活躍する先輩

開発

理系大学へのイメージが覆ったオープンキャンパス

私は理系学部を志望しており、理系大学を探す中で、工学専門から総合大学へ発展した東京都市大学の背景に興味を持ちました。オープンキャンパスでは、理系大学だったとは思えない明るい雰囲気、に驚きました。当時、私の中では理系大学は静かなイメージがあったからです。そのギャップが新鮮で魅力的に感じられ、ここで学びたいという思いが強まり、入学を決意しました。

研究室の教授から伝授 開発職として必要な“考え方”

現在私はフィルム製品の開発に携わっていますが、大学での学びが活かされています。実験では教授からの「誤差とは何か」という問いの深さを追求しました。それまでの私は過去の結果を正とし、結論ありきで検証していましたが、教授から「本当に過去が正なのか」「自分の結果が正しい可能性もある」と考える重要性を学びました。これは開発職としても、生きる上でも大切な考え方だと思います。このような力を養える環境を作って下さった教授にとても感謝しています。

理系で学ぶ武器

開発という仕事では、先ほど述べた“本当にこれでいいのか”という考え方に加え、“なぜ?”を追求する姿勢も求められる仕事だと感じています。私はこの考えをもつ習慣をやはり大学の実験を通して養えたのではないかと考えています。研究や実験から体得する理系らしい思考は開発職で強みになります。もし開発という仕事に興味があれば理系で学ぶことも良い選択肢だと思います。

やりたいことや夢が今分からなくても大丈夫!

元々、私は将来やりたいことが明確じゃなかったけれど、大学での電気、数学、物理などの専門的な学び、そして教授が説いてくださった考え方を知ったからこそ、さまざまな選択肢の中から今の道に辿り着きました。これからの目標は今の仕事のスキルをもっともっと上げていくことです。なので今は夢を描けなくても、「どうぞ心配しないでください!」とお伝えできます。大切なのは歩みを止めずに進み続けることです。焦らず、前向きに将来と向き合ってください。



仕事では過去の結果に捕らわれず、“なぜ?”と考えることを大事にしています。

開発職として必要な思考 大学の研究で養った力を活かす

挑戦は
少しの興味から

大日本印刷株式会社

<https://www.dnp.co.jp/>
オプトエレクトロニクス事業部開発本部
國吉 涼夏さん

東京都市大学

工学部 電気電子工学科 卒業
(現:理工学部 電気電子通信工学科)



DNP
大日本印刷



【関連キーワード】印刷・広告・半導体・電子機器・情報処理

電気電子と情報処理の知識で、
この国の産業と生活を支える。

【入試課】03-6809-7590

@toshidaigroup

[tcu.ac.jp](https://www.tcu.ac.jp)



東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY





AMBITIOUS #415

IT・モノづくりの

分野で活躍する先輩

リサーチャー

「働く」を予習した大学時代

高校生の頃、将来会社に就職する自分を想像し、企業活動について学べる経営学部しよう決めて大学を探しました。駒澤大学の市場戦略学科を選んだのは、「市場のなかでどのような商品を誰にどうやって売ること競争他社に勝つか」という戦略を専門的に学べる環境に魅力を感じたためです。大学では、企業が成長して、どのように競合企業と競争していくのかを実例や企業連携プロジェクトを通して学ぶ実践型ゼミに所属しました。最も印象に残っているのは、提案時に根拠としてアンケート調査結果を添えると企業の方の聞く姿勢が劇的に変わったことです。調査データが持つ説得力を肌で感じた経験となりました。

データの価値に注目してマーケティングリサーチ業界へ

戦略立案における調査データの重要性に気づいたことをきっかけに、市場動向や顧客ニーズなどの情報を収集・分析する「マーケティングリサーチ」という仕事に興味を持ちました。インテージはマーケティングリサーチ事業でアジアNo.1ということもあり、あらゆるポジションに女性が多く、長く活躍できる環境に魅力を感じて入社しました。現在は店舗レジのPOSデータや消費者の買い物記録など、同じ対象を継続的に観察した「パネルデータ」を扱う部署にいます。お客様の課題に合わせてデータを抽出し、集計・加工する役割です。課題の背景を整理して、どのようなデータが必要かを導き出す思考のベースは、ゼミ活動の企業事例研究で培われたと感じています。

企業の意思決定を支援するやりがい

数字の羅列から市場や顧客の動きを読み解いて企業の課題解決に繋げる工程には難しさの反面、面白さがあります。さらに、自分の分析がお客様の新商品や販促戦略に生かされることは大きなやりがいです。裏方としてデータを正しく届けることで、社内のメンバーやお客から「助かりました」という感謝の言葉をいただくと喜びを感じます。

世の中に関心を持ち興味を広げて

皆さんには、世の中や新しいものに関心を持つことを大切にしてほしいです。私自身、新商品を実際に試すことで、データが示す数字の裏側にある生活者目線の感触を理解するよう努めています。情報の感度を高く持ち、変化を面白がれる人は、この仕事にとっても向いています。ぜひ身近な変化に目を向け、興味の幅を広げていってください。



データを読み解けるよう、普段から業界ニュースや新商品に積極的に触れています。

データ活用で生活者理解を深め企業の課題解決に確かな力を

「気になる」女子が
数字に意味を与えてくれる!

株式会社インテージ

<https://www.intage.co.jp/>

データマネジメント事業本部/サービスDX部/
デリバリーDX推進グループ

阿部 千春さん

駒澤大学

経営学部 市場戦略学科 卒業

都立三田高校出身



【関連キーワード】データ分析・戦略立案・市場調査・インサイト事業・マーケティングリサーチ

市場の変化をとらえ、
新たな価値を生み出す。

【入学センター】03-3418-9048



@komazawa_adm



@Komazawa_nyugaku



しなやかな、意思。
駒澤大学





AMBITIOUS #416

IT・モノづくりの

分野で活躍する先輩

機械設計

機械工学の世界へ水インフラで世の中を支えていく

ものづくりへの興味が拓いた機械工学への道

幼い頃から「生物の仕組み」や「宇宙の秘密」などをテーマにした子ども向けの科学雑誌をよく読んでいて、ものづくりが好きでした。大学選びの際には完成したものが目に見える機械工学を学びたいと考え、芝浦工業大学を選びました。就職で活かすことを見据えて自然な流れで大学院へ進学。物づくりへの純粋な好奇心が、現在のキャリアの原点となりました。

大学で学んだ基礎が機械設計の土台

大学ではロボット製作の実践など手を動かす学びを予想していましたが、実際には機械工学の基礎となる「材料力学」「機械力学」「熱力学」「流体力学」の4つの力学分野(四力)や歴史などを深く学びました。当時は地味に思えた基礎知識や図面の読み書き能力こそが、実は一番の学びです。

インフラ業界で活かすものづくりの力

就職活動では大きなものを作りたいと考え、重工業やインフラなどの業界を見ていました。就活生向けの展示会に参加した際、重工業から水インフラに分かれた会社があることを知り、興味を持ちました。規模が大きく、社会貢献性が高い点を踏まえ、水インフラで自分のものづくりを生かしたいと考えました。現在の主な業務は水インフラ設備の図面作成や計算書の作成です。大学で修得した材料力学等の知識が、設備の強度を算出する計算業務に直接活かされています。また、学生時代の図面読解力があるからこそ、外部業者との細かな調整や正確なチェックを責任を持って遂行できます。

自分の図面が巨大な設備に

設計職のやりがいはいは、自分の図面が巨大な設備として現実の形になることです。数メートル規模の設備が工場や現場で完成した姿を見る瞬間には感動があります。製作現場と議論しつつ協力して物を創り上げる過程も魅力です。社会に不可欠なインフラ構築に直接貢献できる実感こそが日々の原動力です。

幅広い視野でやりたいことを追求して

進路を早くに絞りすぎず、興味があることに自由に挑戦してほしいです。大切なのは広い視野で多様な経験を積むことです。基礎を学びつつ自分のやりたいことを追求すれば道は拓けます。今の経験は必ず将来の糧になるので、楽しんでください。



自分のやりたいことが今の仕事につながっています。

日常のあたりまえを支える

メタウォーター株式会社

<https://www.metawater.co.jp>

環境エンジニアリング事業本部

環境エンジニアリング設計部 機械設計グループ

福嶋 さくらさん

芝浦工業大学大学院

理工学研究科 機械工学専攻 修士

芝浦工業大学

工学部 機械工学科 卒業

(現:機械工学課程)



【関連キーワード】 インフラ・水処理設備・上下水道プラント

実務的な技術者の育成

【大学院課】03-5859-7420

 @shibaura_it

 @shibaura_instituteoftechnology





AMBITIOUS #417

IT・モノづくりの

分野で活躍する先輩

生産管理

時代の流れを捉え情報工学の世界へ

高校時代には早い段階から理系の道に進むことを決めていました。当時はスマートフォンが普及し始めた時期で、情報工学という分野に魅力を感じていたためです。大学選びでは情報工学を学べる環境を軸として進学先を探し、東京工科大学に縁があり進学を決めました。

ITを中心に据えた横断的な学び

大学では授業を通じてプログラミングなどの情報系知識を習得しました。ゼミはオペレーションマネジメント研究室に所属し、生産工学や仕事の効率化、マーケティングなど、情報工学の枠にとられない幅広い視野を養えたことが印象的です。サークル活動での人脈作りや、店舗でのアルバイトで効率的な品出しを考えた経験も、自分にとってプラスの学びとなっています。

住宅業界におけるIT化の伸び代に着目

就職活動では、あえて「IT化があまり進んでいない業界」を分析し、活躍の幅が広いと考えた住宅業界を選択しました。なかでも大和ハウス工業を選んだのは、住宅事業をコア事業としながら、商業施設や物流施設、事務所、工場などの建築も行うなど事業内容が多岐にわたる点に惹かれたためです。祖父が建てた家が大和ハウス工業で、縁を感じたことも後押しとなりました。

現場の声に向き合う信念の折衝とIT活用による業務改革

栃木二宮工場では、柱などの建築構造材を作っています。私は工事担当者として打ち合わせを行い、工場全体の生産・出荷量を計画管理・コントロールしています。ときには意見がぶつかることもありますが、自分の信念を持ち折衝して着地点を探ることに、仕事の難しさや手応えを感じます。さらに、業務改革の一環としてRPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）を活用するなど、情報工学の知識が自らの業務改善に役立っています。

貪欲な好奇心が未来を拓く

大学の授業だけでなく、ビジネス誌を読んだりアルバイトなどを通じて「自分の視野を広げる時間」を大切にしたいと思っています。それが興味のある分野を見つけるきっかけになります。また、専門外のことに前向きに取り組む「貪欲さ」と、礼儀正しさを備えた「積極的な姿勢」が、仕事の幅に直結します。ぜひいろいろなことに触れて、ご自身の可能性を広げてください。



信念を持ちコミュニケーションをとることで最適な選択を導きます。

世の中が求める技術を武器に人々の暮らしを支える仕事

踏み出した分だけ世界は広がる！

大和ハウス工業株式会社

<https://www.daiwahouse.co.jp/>

栃木二宮工場住宅生産管理課

高山 紘平さん

東京工科大学

コンピュータサイエンス学部

コンピュータサイエンス学科 卒業



【関連キーワード】住宅・建築・生産管理・折衝・コミュニケーション

AI UniversityとしてAIをはじめ様々な先端の教育・研究を推進します。

【広報課】0120-444-903

@tut_tweet

@tut_koukaton.official



東京工科大学





AMBITIOUS #418

IT・モノづくりの 分野で活躍する先輩 デザイナー



なるようになる!

株式会社キングジム

<https://www.kingjim.co.jp/>
デザインイノベーション部 デザイン課
菅原 加奈さん

昭和女子大学

生活科学部 環境デザイン学科 卒業
(現:環境デザイン学部)



おどろき、快適、仕事と暮らし

KING JIM

【関連キーワード】>>> デザイン・商品企画・マーケティング

ものづくりの楽しさを再確認した大学時代

昭和女子大学の附属高校に通っていた私は、もともとデザインやものづくりに関心がありました。当時は「モノ」だけでなくイベントなどの「コト」の企画にも惹かれ、環境デザイン学科のプロデュースコースに進学。転機となったのは、他大学の学生とチームを組み、高齢者の歩行機能をチェックする器具を開発したプロジェクトです。理系や美大の学生と協力しアイデアを形にする過程で、「やっぱりモノを作るのが好きだ」と再認識しました。この経験が、メーカーのデザイナーを志す原点になったと感じています。

感性とリサーチを掛け合わせ、心に響く商品をデザイン

現在は文房具やライフスタイル用品の商品デザイン、パッケージや販促物の制作などを担当しています。一番楽しいのは、自分がターゲット層の商品開発です。機能性ノートでは、自分自身の感性を活かして「欲しい」と思える色やデザインを追求しました。一方、自分と異なる層に向けた商品の場合は徹底的にリサーチします。30〜40代男性向けのデジタルメモを担当した際は、ハイブランドの店舗を回って流行や高級感を掴み、ユーザー心理の理解に努めました。そうして手掛けた商品が店頭に並んでいるのを見た時は大きなやりがいを感じます。

毎週のプレゼン経験が、社長への提案も支える「伝える力」に

大学時代に身につけたデザインスキルは業務の基盤となっていますが、それに加えて今の私を支えているのが「伝える力」です。在学中は毎週のようにプレゼンする機会があり、人前で発表し続けることで自然と度胸がつきました。現在も、企画を通すために社長へ直接プレゼンするという重要なフローがあります。緊張感がありますが、大学時代に培った度胸のおかげで、物怖じせずにデザインの意図や商品の魅力をしっかりと伝えられています。

自分から枠を飛び出し、異なる価値観に触れる経験を

学生時代は自分から一歩踏み出して、学内だけでなく異なるコミュニティにも飛び込んでみてほしいです。私自身、他大学との連携プロジェクトや他学年と関わる活動に積極的に参加しました。異なる専門性や価値観を持つ人と協働した経験が、今の仕事でも役立つ大きな財産になっています。就職活動など将来のキャリアに不安になることもあるかもしれませんが、自分に合う場所には自然と導かれるものだと思います。ぜひ色々なことに挑戦して、今しかできない経験をたくさん積んでください。



ターゲットに興味を持ち、手に取る人を想いながら日々デザインを考案しています。

誰かの「欲しい」を形にし心躍る商品を世に送り出す

「グローバルな視点を持ち、自立・自律して
社会で活躍できる女性」の育成

【アドミッションセンター】03-3411-5154

@swu_official

@insta_swu





AMBITION #421

くらし・生活の

分野で活躍する先輩

記者

子ども記者の「知って伝える楽しさ」

子どもの頃からニュースに関心があり、本人に会いたい、その場所へ行ってみたいという気持ちがありました。高校時代に、ある新聞社の学生記者の活動を知り、学生でも新聞の1ページを書けると知って好奇心のままに参加。当時はクラシックバレエに夢中で、憧れのバレリーナに取材できることも魅力でした。小中高生で取材を企画提案して書いた記事が夕刊に掲載される経験は、記者を志した原点です。あらゆる人や場所から新たに知ることを記事にして伝える活動はワクワクしました。大学選びでは記者の仕事を意識しつつ視野を広げたいと、社会の基盤である法律や政治を学べる中央大学法学部へ進学しました。

報道の社会的意義と自らの熱意

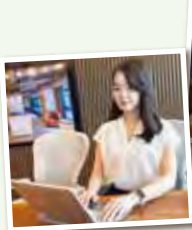
大学では法律や政治のほかにジャーナリズム論を学び、純粋に楽しかった報道に社会的な役割があると知りました。例えば「立法・行政・司法」の三つの権力を監視する「第四の権力」の役割や、問題を掘り起こして伝える調査報道など。国際分野を学ぶチャンスにも溢れ、国際政治ゼミのほか、中央大学独自の国際インターンシップ「ILOリサーチプログラム」でスイスの国際労働機関に滞在して学びました。自分で問いを立てて批判的に考え、文献やフィールドワークを通して調査しまとめる経験を重ね、それに熱中できると気づいた大学時代でした。

社会問題や現場の声を伝える

就活では自分でいろいろな現場へ行き伝える記者という軸で全国紙を中心に見ていました。大学の恩師が朝日新聞社出身で、報道の社会的な意義や立場の弱い人の声を重視する姿勢に惹かれ、第一志望で現職へ。社会部所属と外務省の取材経験を経て、現在はマニラ支局長として東南アジアの取材をしています。誰かが問題提起をして現場の声を伝えなければ、知られず問題とも思われないことがある。だからこそ、読者から「こんな事実があるなんて」と手紙をいただき、紙面を通じて読者の心に届いたと感じる瞬間がやりがいです。

自分の「ワクワク」を信じて追求して

興味がある方はぜひジャーナリズムの世界を目指してほしいです。好奇心のままに自ら足を運び深掘りする経験は最大の強みになります。自分の好きなことや熱中した経験に自信を持ち、夢を掴んでください。



現場に足を運び、正確な状況や気づきを伝えるような心がけています。

人や場所から知る新たな視点
自分が現場から世の中に届ける

好奇心を大切に!!

株式会社 朝日新聞社

<https://www.asahi.com/corporate/>

東京本社 国際報道部 マニラ支局長

加藤 あすさん

中央大学

法学部 法律学科 卒業



朝日新聞東京本社の社屋(朝日新聞社提供)

朝日新聞



【関連キーワード】>>> 報道・海外特派員・情報通信業(メディア)

都心のキャンパスで『法的問題意識』と『法的問題解決能力』を備えた人材を養成する

【入学センター(入試課)】042-674-2121



@chuo_admission



@chuo_admission



中央大学
CHUO UNIVERSITY





AMBITIOUS #422

くらし・生活の

分野で活躍する先輩

技術者

長期的に学ぶからこそ夢中になれる分野を

高校時代に数学や物理が得意だった私は、4年間学ぶなら夢中になれる分野へと考え、芝浦工業大学の機械工学科へ進みました。実験や研究室に強みがあり、1・2年生は大宮、3・4年生は豊洲のキャンパスで環境を広げながら学ぶことが魅力でした。入学直後は授業のレベルの高さに圧倒され、自分の知識が通用しない衝撃を受けながらも、同級生と教え合うことで乗り越えました。研究室では、電線のリサイクル選別装置を自ら製作するなかで思うように動かずに苦戦しましたが、教授から「失敗もきちんと記録をとるように。大切な情報であり、成功へのプロセスだ」と教わり大きな気づきとなりました。その後は仲間からの多角的なアドバイスも取り入れ、試行錯誤の末に選別率99%を達成できました。同級生や研究室の仲間など、周囲と協力して壁を乗り越えた経験は、今の私を支える大きな財産です。

理系×お菓子「好き」を追求してロッテへ

就職活動では、数十年携われることをふまえ、理系の知識に大好きな「甘いもの」を掛け合わせてお菓子のメーカーを検討しました。特にロッテは、高校の水泳部時代に練習場所の隣の工場から漂っていたチョコの香りが思い出深く、私が一番好きなお菓子「チョコパイ」を作る会社であることも大きな魅力でした。技術一本の難しさを痛感したからこそ、長く続けられる「好き」を軸に据えました。

お菓子工場の最前線で機械に携わる

現在は、新機械設備の導入企画業務や、現場での機械搬入・設置工事・テスト確認などの管理を担当しています。大学時代に学んだ人に頼る大切さを活かし、他部署やブロの方々と協力して業務を遂行しています。機械の構造を好奇心を持って学ぶ姿勢が、今の仕事の質を支える重要な要素です。自分が設計に携わった機械が工場で力強く動く姿を見る瞬間に大きなやりがいを感じます。

長く付き合える好きな分野を追究して

学生の皆さんには、苦手なことがあっても「これなら頑張れる」と思える、長く付き合える好きな分野を大切にしてほしいです。技術分野では学生時代に図面製作や設計・分解、最新のAI活用のスキルを磨くことが大きな強みになります。もしお菓子や機械が好きなら、その気持ちを胸にぜひ突き進んでください。



わからないことは教え合い、仲間と協力することを心がけています。

得意と好きが交差する分野を見極めて、大好きなチョコパイを作る企業で働く



「好き」を大切に。

株式会社ロッテ

<https://www.lotte.co.jp/>
狭山工場 施設部 技術一課
堀 雄祐さん

芝浦工業大学

工学部 機械工学科 卒業
(現:機械工学課程)



お口の恋人
LOTTE



【関連キーワード】>>> 菓子・アイスクリーム・食品・飲料

世界に学び
世界に貢献する。

【入試課】03-5859-7100



@shibaura_it



@shibaura_instituteoftechnology



芝浦工業大学
SHIBURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY





AMBITIOUS #423

くらし・生活の

分野で活躍する先輩

法務



株式会社 明治

<https://www.meiji.co.jp/>

法務部 法務グループ

長友 網花さん

明治大学

法学部 法律学科 卒業



【関連キーワード】法律・契約書締結・社内研修・食品業界

やりたい仕事を、誇りを持てる環境で
会社の挑戦を法律で支える

ドラマを通じて感じた憧れから学びの場へ

リーガルドラマが好きで、漠然と、法律を学ぶことに興味や憧れがありました。明治大学法学部に進学を決めたのは、入学後にじっくり学んでから自分の進路に合わせたコースを選択でき、在学中の変更も可能な「コース制」に魅力を感じたからです。目指す卒業後の進路がまだ明確でなかった私にとって、法律を学びながら歩む道を選ぶ環境は、進学先選びの大きな決め手となりました。

「背景・目的・手段」で捉える物事の本質

大学時代に最も印象に残っているのは、学園祭実行委員会での活動です。「背景・目的・手段」の順に思考する大切さを先輩方に教わりました。この本質を捉える考え方は、現在の仕事では例えば社員向けの勉強会を企画する際などにも活かしています。勉強会を行うということ自体を目的化せず、その必要性や何のために行うのかを最初に明確にすることで、成果に繋げることができています。

攻めと守りの両面から会社の挑戦を支える

現在は契約書の締結支援や法律相談を通じ、法律違反などのリスクを予防しつつ会社の新しい挑戦を支えています。卒業後の進路に会社の法務部を選んだのは、「トラブルに対する予防や対処だけでなく、自社の経営戦略の実現をサポートする仕事」という先輩の言葉に惹かれたためです。リーガルリスクから会社を「守り」ながら、ときに法律知識を武器に「攻め」の姿勢で会社の経営・成長に寄与できる点にやりがいを感じています。

自身の成長を感じる法務の魅力

法務の仕事は、経験を積むほど自ら判断できる領域が広がり、アドバイスできる内容も深く豊かになっていきます。最初は一人で判断できず先輩を頼るばかりでしたが、知識や経験を積み重ねることで着実にステップアップできている手応えがあります。何年経っても自身の成長を感じ続けながら仕事ができることは、この職種の大きな魅力です。

自分の「好き」を軸に輝ける未来へ

学生の皆さんには、一般論や周囲の声に囚われすぎず、ご自身の「好き」や「ワクワク」を大切にしてほしいです。私自身、それを軸に選択を重ねた結果、今の会社や仕事に出会えました。キャリアの選択肢も多様化する今、ご自身の気持ちを大切にしながら、皆さんが自分らしく輝ける仕事に出会えるよう、心から応援しています。



物事の本質を捉え、目的を明確にして取り組むことを心掛けています。

法学のパイオニア

【入試広報事務局】03-3296-4139



@meiji_admission



@meijiexam





AMBITIOUS #424

くらし・生活の

分野で活躍する先輩

食品業

多様な声に耳を傾け、
ヤクルトを世界的ブランドへ！

総合大学ならではの経験

大学で一番学びのある思い出はテニスサークルでの代表経験です。日本大学は、総合大学ということもあって、サークルの部員数が100名以上でした。私は代表として、部員の意見をまとめることや、スケジュール管理などをしました。最初は苦労しましたが、部員一人ひとりの声をしっかり聞くことを意識し、部員にも役割を与えることでうまく組織を動かすことができました。大きな組織で得た学びは日本大学だったからこそできた経験だと思います。

ヤクルトの世界進出を促す仕事

私は現在、国際事業推進部アジア推進課にてベトナムの現地法人であるベトナムヤクルトの事業活動のサポートや新商品導入に関する仕事をしています。仕事では、出向者の考え、現地社員の声、そして日本の国際事業本部との調整など多くの人の声を聞きながら進めています。そこでいつも感じることはいろいろな人の声を聞くことの大切さです。これは大学でのサークル代表経験で学べたことです。サークル活動で得た力は、こうしてしっかり仕事で発揮できています。

やりがいと難しさは表裏一体

昔から変わらない「ヤクルト」という商品が世界でも親しまれるようになっていくこと、その仕事に携われていることに大きなやりがいを感じています。一方で難しさもあります。現在担当しているベトナムの現地に行けるのは、年に一度あるかないかです。そのため、現地に足を運ばずに、現地の声拾いながら進めるには、ただ見聞きたことをそのまま受け入れるのではなく、「この状況はこういうことなのではないか」と仮説を立て、自分なりの考えをまとめていくことを大切にしています。

立ち止まっても大丈夫。学ぶ姿勢を忘れずに！

私は高校時代に「これだ！」と思える進路を見つけれませんでした。しかし、これまでの経験を通じて、置かれた環境で一生懸命取り組む大切さを学びました。何事もまずは学んでみようという姿勢から始まると思います。時には立ち止まることもあるでしょうが、大丈夫です。過去の自分に後悔しないよう、自分で選んだ道に自信を持って取り組み、そこから少しでも学びを得ることが将来の糧になります。焦らず、ゆっくりでも構いません。今この時を大切に過ごしてください。



「より多くの国でヤクルトが愛されるために」を目指し日々奮闘しています。

どんな選択でも
自分が選んだ道に
自信を持って欲しい

株式会社ヤクルト本社

<https://www.yakult.co.jp/company/>

国際事業推進部アジア推進課 担当課長

岩原 将人さん

(取材日:2026年1月)

日本大学

商学部 商業学科 卒業



【関連キーワード】>>> 国際事業・飲料・健康・物流・食品・卸売

実践的なビジネスを意識した
総合知教育

【学務部入学課】03-5275-8001



@nihon.u.koho



@nihon-u.nyushi



自主創造
日本大学





AMBITIOUS #425

くらし・生活の

分野で活躍する先輩

営業職

将来を見据え、社会を幅広く学べる大学へ

高校時代、将来やりたいことがまだ定まっていなかったからこそ、選択肢を具体化できる幅広い学びと、就職を見据えた手厚いサポートを重視して大学を選びました。昭和女子大学は少人数教育でコミュニケーションが取りやすく、就職活動時にもこまめなフォロー体制があることを知り魅力を感じました。また、人間社会学部現代教養学科では、社会を広く俯瞰する目を養いながら、政治やメディアなど多様な視点で社会学を学べる点も進学の決め手でした。

地域と関わり、実践的に学んだゼミ活動

大学時代で特に印象に残っているのは、地域社会学のゼミで「世田谷パン祭り」というイベントの運営に携わったことです。主催する地域のコミュニティと密に連絡を取り合いながら、学生としてどんな手伝いができるかを考え、パン屋さんへの取材やパンフレットの作成などを行いました。様々な場所から訪れる来場者を観察し、「世田谷パン祭り」自体を卒論の研究対象とするなど実践的な活動を経験。大学の外の人たちと継続的に関わり、良好な関係を築くためにどうすればよいかを考え行動したこの経験は、私にとって大きな財産となっています。

データ分析と現場目線を掛け合わせた提案

インドア派の私は「家でのリラックスや癒やしにつながる商材」を扱う仕事がしたいと考え、キーコーヒーに巡り合いました。現在は、小売店や問屋に対し家庭用コーヒー商品の提案営業をしています。日々の営業活動では、商品の特徴や価格を伝えるだけでなく、試飲販売の実施など「店頭での販促方法」までセットで提案。お店の棚をよく観察し、データを使って消費者の動向を分析した根拠のある提案を心がけています。私の提案で商品が採用され、お店の売上に貢献した時に大きなやりがいを感じます。大学時代に統計学でデータの分析方法を学んだおかげで、現在の業務にも抵抗なく取り組んでいますし、ゼミ活動で培った外部の方とのコミュニケーション力も日々の営業活動の基盤です。

興味のアンテナを張り、学生生活を楽しんで

学生のみなさんには、日頃から自分が何に興味があるかアンテナを張って過ごしてほしいです。「これ面白いな」という小さな気づきの積み重ねが、将来の選択に繋がるはず。授業や部活、友人との時間など、今しかできない学生生活を思い切り楽しみ、自分らしいキャリアを描いていってください。



そのお店に一番合った売り方を常に考えています。
(※商品は取材当時のもの)



お店に並ぶ商品の魅力を最大限に
日常に寄り添う一杯を届ける提案営業



自分の「好き」を見つけてみよう!

キーコーヒー株式会社

<https://www.keycoffee.co.jp/>

流通営業本部 大阪支店営業二課

安西 美桜さん

昭和女子大学

人間社会学部 現代教養学科 卒業



【関連キーワード】>>> 提案営業・企画営業・小売・データ分析・食品メーカー

「グローバルな視点を持ち、自立・自律して
社会で活躍できる女性」の育成

【アドミッションセンター】03-3411-5154

@swu_official

@insta_swu





AMBITIOUS #426

くらし・生活の

分野で活躍する先輩

販売企画

流行の発信地で学ぶ

数ある大学の中で青山学院大学を選んだ理由は、高校生の時にオープンキャンパスで経営学やマーケティングの面白さを知ったこと、キャンパスが渋谷や表参道という立地にあるという点です。流行の発信地が近く、授業でインプットした知識が世の中でどう実践されているかをリアルタイムでキャッチできる環境に魅力を感じました。

商品デザインから販売企画まで実践したゼミ活動

大学のゼミでは企業とコラボし、子供向けインソールのデザインから販売、振り回りまでの一連の流れを経験しました。左右を揃えたと絵がつながるデザインを考案し、水族館で販売するまでのプロセスを通じて、授業で学んだ知識を自分たちで形にする難しさと楽しさの両方を身をもって実感しました。

チームだからこそ成し遂げられる

現在はADDICTIONという化粧品ブランドのナショナルプロモーションを担当。認知から購入、継続利用までを見据えた施策の企画・実行を担う仕事のため、商品企画やSCM、店頭など多岐にわたる部門との連携を重視しています。一人の力では成し遂げられないことも、メンバーそれぞれの得意不得意を活かしてコミュニケーションを深めることで、最終的にお客様へ感動を届けることができるという確信は、学生時代のゼミ経験が基盤となっています。

お客様や現場からの喜びの声

お客様から「この商品に出会えて良かった」と直接的な喜びの声が届くことがやりがいです。自分が企画したプロモーションを通じて「店頭にお客様が来てくれた」と美容スタッフから報告を受ける瞬間も、自分の仕事が現場に繋がっていると実感でき、大きな活力になります。常にアンテナを上げ、現場の声を通じてお客様が真に求めているものをキャッチアップすることを大切にしています。

広い視野で挑戦を

やりたいことに固執せず、変化を恐れずに多様なことに挑戦してください。私自身、人事やECなど全く異なる部署を経験しましたが、その全てが今の自分に繋がっています。広い視野を持って目の前の経験をポジティブに積み重ねることで、自分自身の新しい可能性が広がっていくはずです。



世の中の流行やお客様の声をしっかり受け止めて価値を届けます

チームで繋ぐ想いのボタン
お客様の喜びが、次の一歩の原動力

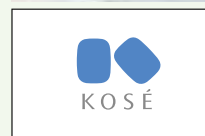
選択肢を広げる
チャレンジを!

株式会社コーセー

<https://koseholdings.co.jp/ja/>
戦略ブランド事業部 販売企画二課
小林 充枝さん

青山学院大学

経営学部 経営学科 卒業



【関連キーワード】プロモーション・販売促進・SNS運用

現実の企業で起きている問題を取り上げ、
理論的かつ実践的な研究を行う

【入学広報部入学広報課(青山キャンパス)】
03-3409-0135

@AoyamaGakuinU @aoyamagakuinuniversity



北里 大学病院 (病棟)



北里大学病院

<https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/nurse/>

嶋田 恵芽吏郎(えめりや) さん

北里大学

看護学部 看護学科 卒業

都立西高校 出身

AMBITIOUS
#427

チームで一丸となって、
患者の希望を叶える



【看護師に救われた祖母を見た】

私はもともと病院に通うことが多く、医療職への憧れは小さい頃から持っていました。決め手になったのは高校時代に見た祖母の入院。体を悪くして入院すれば心細くなります。そんなとき、病棟の看護師に優しく看護されていた祖母がメンタル面でとても救われている姿を見ました。「私も看護師になりたい。」将来の目標が定まり、大学を選び始めました。大学選びの条件として最初に考えていたのは総合大学であること。医師や卒業生など、様々な医療従事者の話が聞けることは総合大学の利点だと考えていました。数ある総合大学の中でも北里大学を選んだのは、留学プログラムが用意されていたからです。海外の看護を見ることで見聞を広めたいと思っていた私の好奇心にマッチしました。

【大学内外にわたる 手厚いサポート】

大学での学びは留学に授業、実習と盛りだくさんでした。2年生のとき、かねてより志望していた留学プログラムに

参加しました。行き先はUCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)。アメリカには専門的な行為を行う看護師も多くいます。たとえば麻酔は日本では医師の仕事ですが、アメリカでは看護師が行うことも。日本にも特定行為研修は持ち込まれていて、北里大学では積極的に研修が進められています。一番印象に残っている北里大学での学びは、元から関心のあった急性期の実習です。急性期病棟は手術前後の患者さんをケアする部門。患者さんの抱える不安に深くアプローチする経験ができました。実習先は北里の附属病院が多く、医師や大学のサポートが手厚かったことを覚えています。

【チームとして、 リーダーとして働く】

私は北里大学病院の消化器外科病棟に勤めています。誰も手術は不安なものです。術前は患者さんが心身の準備を整えて手術に臨めるようにサポートします。術後は心肺などの状態が大きく変動するので、観察とケアを欠かしません。「術後」は続きます。合併症を防ぐためにリハビリをサ

ポートしたり、経過が思わしくなく、気分が落ち込んでしまった患者さんをチーム医療でサポートします。

【重い責任と大きなやりがい】

患者さんの「家に帰りたい」という希望を叶えられたときは嬉しいですね。日常生活の動作が難しい患者さんでも家に帰れるよう、どうすればいいのか、何が必要なのかなど、院内のあらゆる知識を動員します。北里大学病院では医療従事者同士の横の連携を密に取れていることが特徴です。看護師の中にも多くの専門性を持った看護師がいるので、患者さんにとってより良いケアに繋がられます。

【色々な現場を見てみて！】

高校生の時点で看護師に興味があるのであれば、ぜひ大学など、現場に足を運んでみてください。学生や働いている人の様子を見ることで「想像と違う…」と思うかもしれませんが、それでもOKです。視野が広がれば、自分が本当にやりたいことに一歩近づけるでしょう。

日々進化する医療に対応し
先頭に立って活躍する看護師を育成

【入学センター】042-778-9760



@Kitasato_PR



@KitasatoUniv



北里大学
Kitasato University





北里大学を卒業した先輩が携わる最先端医療の現場

刻々と変わる患者さんの体調をモニタリング。最近
はリーダーとして、他の看護師をまとめる役割も受
け持ちます。心のケアも看護師の大切な仕事です。

この業界・
仕事を目指す
大学生に
聞く！

この大学で仲間と切磋琢磨したい！

あのときの悔しさをバネに、
チームで人を守る看護師になりたい



北里大学

看護学部 看護学科

都立小松川高校出身

島田 みのりさん 2年(取材時)



高校の進路希望で 覚悟が決まった

高校生のときに祖母が倒れました。私は何もできず、無力感と悔しさが込み上げてきました。「これからは大切な人に何か起きたとき、私が守る。」医療の道に進むことを決めました。看護師を選んだのは患者さんとの距離が一番近い仕事だから。患者さんに寄り添ってケアができる仕事を選びました。

明るい大学で チーム医療に触れた

大学選びのオープンキャンパス巡りで北里大学のキャンパスツアーに参加。実際に実習で使う設備などを案内してくれた学生さんがとても元気

で、人柄に惹かれました。「ここで仲間と切磋琢磨したい。」北里大学を志望しました。入学後、2年生の実習先は地域包括支援センター。糖尿病の患者さんが栄養について学ぶサポートを行ったり、栄養士のアドバイスを受けつつ家族向けに栄養指導の資料を作ったりしました。それは憧れのチーム医療に触れる経験でした。

チームで子どもと向き合いたい

目指しているのは小児科です。子どもは心も体も未発達。病気と向き合うこと自体が難しいこともあります。私は大人とは違うアプローチが必要な小児科に興味を持ちました。医療従

事者全員で患者さんと向き合うチーム医療を通して、看護師の立場から貢献したいと思っています。また、実習中に看護師を信頼して笑顔で話す患者さんを見ました。「私も安心して命を託してもらえるような看護師になりたい。」看護師は学ぶことや知るべきことが多く、今は勉強一本で頑張っています！

誰かのため、と考えてみて

まだ目標が決まらない人もいるかと思いますが。そんなときは、誰かのために、自分に何ができるのかを考えてみると視野が広がるでしょう。強い目標ができれば、壁にぶつかっても前に進めます。

墨東病院 (看護師)



地方独立行政法人東京都病院機構
東京都立墨東病院
新生児科 (NICU/GCU)
<https://www.tmh.jp/kikou/index/hospital/information/bokutoh.html>
齊藤 詩織さん

昭和医科大学
保健医療学部 看護学科 卒業



AMBITIOUS
#428

多岐に広がる充実した学びの中で
「やりたい」に邁進した
大学時代

新生児科の看護師として 赤ちゃんやご家族の 支援・サポートに従事する日々

現在は新生児科 (GCU・新生児養育室) の看護師として勤務しています。小さかったり先天性の疾患を持っていたりすることが多く、体温調節や全身の観察を行いながら成長をサポートすると同時に、退院して家庭で過ごせるよう、ご家族の支援なども行っています。

低体重児として墨東病院で 生まれたことが看護師としての 道を歩むきっかけに

私は早産で生まれ、低体重児でした。当時、お世話になった病院は、現在の勤務地である墨東病院。NICUとGCUに入院していたそうです。「生まれた時は保育器に入っていたんだよ」と、両親から聞いていたこともあり、漠然と医療の道への思いがありました。高校生になり、将来について考えた時にも一番に浮かんだのは医療のこと。自分で調べて、患者さんやご家族と寄り添うことができる看護師を目指すことにしました。

医療の総合大学だからこそ さまざまな道を進む かけがえのない仲間と出会って

高校卒業後は、医療の総合大学である昭和医科大学に進学。実習がメインで学べることや付属病院があることも進学の大きなポイントでしたが、もうひとつ。1年次の全寮制も楽しみでした。コロナ禍に突入し、寮ではほとんど過ごすことができなかったことは心残りですが、同部屋だった他学部部の友人とは今も仲が良く、大事な仲間です。

将来のことで悩んでも 「自分がやりたい」と思った 気持ちを大切に

大学では、さまざまな科での実習や保健師としての勉強もでき、本当に充実した時間を過ごしました。進路も迷いましたが、指導担任の先生のアドバイスもあり「自分が生まれ育った地域で新生児医療に携わりたい」と強く感じたことで、新生児科での今があります。墨東病院は大都市・東京を医療で支える場所。「やりたい」という思いを抱いて進んできた道な

ので、もっと深めていきたいですし、ご家族のケアと一緒に考えていける看護師になりたいです。中学・高校時代は、将来のことを考えても、頭の中でぐるぐる回ってしまうことがたくさんあります。でも「自分がやりたい」と思った気持ちは大切にしてほしい。そして、中学・高校時代だからできることもたくさんあります。部活や友だちと遊ぶこと。勉強もそうです。そうした“今”できることを大切に、学生生活を楽しんでください。



生まれ育った墨東病院で、赤ちゃんやご家族に寄り添う日々を送っています。

人間と向き合い、
トータルに学ぶ「実践の科学」。

【学部入学支援課】03-3784-8026

@ShowaUniv_press @showa_nr



この業界・
仕事を目指す
大学生に
聞く！

「仁」の精神と深い学びで 看護の可能性が広がる

順天堂大学

医療看護学部 看護学科

都立上野高校出身

御領原 由花さん 2年(取材時)



多様な医療のフィールドを 求めて

小学生の頃に見た医療ドラマへの憧れから救急医療に興味を持ち、中学生での入院経験で看護師の方に支えられたことで「看護師になりたい」という確信に変わりました。順天堂大学を選んだのは、救急特化型や地域密着型など附属病院が充実していたためです。特色ある各病院での実習や就職の選択肢が豊富な点に、自分の将来を広げる大きな魅力を感じました。

順天堂ならではの学びの環境

大学での一番の学びは、建学の精神である「仁」の心です。以前は注射などの処置が看護だと思っていましたが、今は患者さんの恐怖心や羞恥心への配慮など、

精神面のケアの重要性を痛感しています。また1年生から実施される「多職種連携論」では、医学部や薬学部の学生と、ある患者さんのケースに対する職種ごとのアプローチについて議論でき、健康総合大学ならではの実践的な学びを実感しました。駅伝で活躍している陸上競技の教員の授業など、医療以外の専門知識に触れる機会もあり、看護を多角的に捉える糧となっています。

実習を通して 看護師の視点を学ぶ

1年生の実習では、看護師が複数の患者さんの情報を把握しながらケアにあたる姿を間近で見て、その判断力と対応力の高さに圧倒されました。また、高齢の患者さんとの会話で必要な情報をうまく引き出せなかったことから、患者さんの生活

背景や不安を汲み取る対話の難しさに気づいたことも大きな学びとなりました。

「どんな看護をしたいか」を軸に 自分に合う 信念を掲げる大学を見つけて

高校生の皆さんには、大学の教育理念を参考に、自分に合う進路を選んでほしいです。順天堂大学が「仁の精神」を基盤としているように、大学ごとに特色ある教育が行われています。自分がどんな看護を実践したいのかを考え、その思いに合う大学を選べば、入学後の学びは必ず充実したものになります。私は順天堂での学びを経て救急以外の領域にも視野が広がり、理想の看護師を目指して一歩ずつ進んでいます。



@juntendo_nurse



@juntendo_nurs

【代表】047-355-3111



この業界・
仕事を目指す
大学生に
聞く！

あらゆる医療現場で 活躍できる看護師を目指す

順天堂大学

医療看護学部 看護学科

都立板橋有徳高校出身

渡邊 翔さん 2年(取材時)



コロナ禍という逆境から 見つけた夢

高校生のころにコロナ禍となり、毎日ニュースでコロナ患者に対応する医療現場の様子が報道されていました。そこで懸命に患者に向き合う看護師の姿に憧れを抱き、自分も看護師として患者さんの支えになりたいと思うようになりました。コロナ禍という大変な時期を経験したことが、将来の夢を持つきっかけになりました。

大学附属病院のある大学で 学びたい

看護師になりたいという夢が見つかったからは、より多くの医療現場を経験し、専門的な知識を深められる環境で学びたいという思いが強まり

ました。大学附属病院をもつ順天堂大学では、最先端の医療を身近に感じながら学ぶことができ、六つの附属病院での実習を通じて、豊富な臨床経験を積める点に大きな魅力を感じ、進学を決めました。

心に響いた先生の言葉

1年生の時、現役で活躍されている看護師の教員から「看護師としての使命感を今から持って日々を過ごすことで、必ず実力はつく。勉強の中で辛いことがあっても、今の夢に向かって突き進んでほしい」と言葉をいただきました。看護師を目指す私たちを全力で応援してくださる姿に感動し、その言葉は今でも私の支えになってい

ます。辛いときは先生の言葉を思い出して乗り越え、信頼される看護師となった姿を先生に見せられるよう頑張りたいです。

経験全てに意味がある

学生の皆さんに、すべての経験には意味があるということを伝えたいです。私は一見マイナスに思えるコロナを経験したことで夢を見つけました。それ以来、医療系のドラマは必ずチェックするなど私生活にも変化がありました。受験勉強など辛いことも、きっと意味のある経験です。どうか前向きに乗り切ってください。

広尾病院 (看護師)



東京都立広尾病院

<https://www.tmh.jp/hiroo/>

循環器病棟

浅井 莉子さん

帝京平成大学

ヒューマンケア学部 看護学科 卒業

AMBITIOUS
#429

患者さんの心と身体に寄り添う
丁寧なケアで支える
看護師の仕事



看護師に救われた 祖母の姿が原点に

祖母が入退院を繰り返していたため、小さい頃から看護師は身近な存在でした。幼い私にも優しく対応してくださった看護師さんたちの姿をよく覚えています。祖母が「看護師さんが親身になってくれたから手術の不安を乗り越えられた」と語っていたこともあり、「私もそんな存在になりたい」と強く思うようになりました。大学選びの際は、国家試験へのサポートの手厚さに魅力を感じ、帝京平成大学に進学を決めました。

担任制のサポートで 学びが深まる

大学で印象的だったのは、3年生まで担任制があったことです。担任の先生は、就職活動や国家試験の勉強はもちろん、日頃の悩みまで相談に乗ってくださいました。また、苦手な単元があれば補習を実施してくださったため、効率的に学びを深めることができました。一人ひとりに寄り添ったサポートがあったからこそ、目標に向かって着実に歩みを進めることができたのだと思います。

現場での実習で 看護の楽しさを実感

大学3年生の年に初めて病院での実習を経験しました。いきなり患者さんを受け持つことに大変緊張しましたが、担当した患者さんから「浅井さんがいてくれたから安心できた」と声をかけていただいた時、看護の楽しさを実感しました。指導者の方からも「学生だからこそ聞き出せる話がある」と教えていただき、患者さんの声に耳を傾け、深く関わることの大切さを学びました。

現場での実習で 看護の楽しさを実感

現在は広尾病院の循環器病棟で看護師として働いています。患者さんの手術前後の身体状況の確認や、食事・清潔介助など日常生活のサポートを行っています。初めての入院や急な手術で不安を抱えている方も少なくありません。何気ない会話にも丁寧に耳を傾け、不安な気持ちに寄り添う姿勢を大切にしています。患者さんから「あの時話を聞いてくれてありがとう」と感謝の言葉をいただいた時や、一緒に退院を喜べた時に大きなやり

がいを感じます。

「楽しい」が成長の原動力に

「楽しい」という気持ちを大切に、勉強だけでなくアルバイトや趣味など、興味があることに積極的に取り組んでみてください。私自身、勉強は得意ではありませんでしたが、看護の学びは心から楽しく、その気持ちが国家試験合格への大きな原動力になりました。学ぶ上でも仕事をする上でも「楽しい」と考えることは大きな力になります。楽しみながら挑戦することで、未来を切り拓いていってください。



患者さんの日々の小さな変化に気づき、心と身体の両面からサポートします。

健康の維持や、病気・外傷からの回復などをサポートする医療専門職を養成します。

【入学者選抜相談・入試係】03-5843-3200



@thu_nyushi



@teikyoheisei_university



駒込病院 (看護師)



地方独立行政法人 東京都立病院機構
がん・感染症センター
都立駒込病院
<https://www.tmhp.jp/komagome/index.html>
稲葉 百合子さん

東京医療保健大学
医療保健学部 看護学科 卒業

AMBITIOUS
#430

患者さんに心から寄り添う看護を
初心を忘れずにいたい

その人らしく
生きることを支える

「私は看護師になる」 覚悟が決まった大学の授業

小学校の時から将来の夢として何となく看護師を視野に入れていました。大学も、看護学科があって自宅から通えるところという理由で進学先を決めました。しかし、東京医療保健大学ならではのと言えるチーム医療としての看護学や日本医療の現状について幅広く学ぶうちに、看護師という仕事にどんどん魅了されました。大学での学びが「看護師になりたい」と強い気持ちにさせてくれました。

「機能看護学」と「国際看護」

看護師としての自分の成長の糧となった思い出深い授業が二つあります。まずセルフマネジメントを学びながら、理想の組織とするための看護の機能を考える「機能看護学」という授業です。チーム医療での看護という役割に特化した学びは今とても活かされており大学に感謝しています。また「国際看護」というテーマでアメリカのシアトルに行き、現地の米医療に触れる経験ができたことも財産と

なりました。最先端をいくアメリカ医療に感銘しつつも、日本医療の素晴らしさも改めて感じる事ができました。医療に対しての視野が広がった貴重な経験ができました。

「寄り添うこと」から

がん専門病院に来院される方の多くは、健康診断や他院でがんの疑いを告げられ、不安な気持ちを抱えています。突然の診断に心の整理がつかない状況において、私はまず患者さんやご家族の声に耳を傾け、気持ちに寄り添う看護を大切にしています。病院を訪れたこと自体が大きな一歩であると理解し、その思いを尊重しながら、医療スタッフと連携して支援していくことを心がけています。

チーム医療だからこそ 達成感

関わった患者さんが元気になったときは嬉しさを感じますが、それだけではなく、一人の患者の治療にあたり医師や薬剤師など、治療に関わる多くの仲間と切磋琢磨しながら治療方法を模索しベストを尽くすチームプレイに

やりがいを感じます。仲間と共に悩み導いた治療方針で患者さんが助かったとき、患者さんやご家族から「ありがとうございました」と言ってもらえた時は、何度経験しても胸がいっぱいになります。

看護師として変わらぬ思い

看護師としてキャリアを重ねても「人の気持ちに寄り添える看護師になりたい」という目標はこの先も変わりません。治療に絶対の正解がないなかで、多様な考えを持つ患者さんの気持ちに寄り添うことの難しさを日々感じます。どんなに忙しくても、一人ひとりの思いに向き合うことを揺るがぬ目標として成長していきたいです。



“患者さんの声に耳を傾け、思いを理解すること”この考えを大切にしています。

一歩先の医療を、創造する。

【入試広報部】03-5779-5071



@tokyoiryohoken



@tokyoiryohoken_univ



虎の門病院 (看護師)



虎の門病院
https://toranomom.kkr.or.jp/
呼吸器内科病棟
上杉 真由さん

武蔵野大学
看護学部 看護学科 卒業

AMBITIOUS
#431

看護は人生の一部に寄り添う仕事
患者さんの思いを
尊重してケアする



人の人生に寄り添う仕事

【人の役に立ち自立して生きる道へ】

幼い頃、体が弱く入院していた私を優しく支えてくれた看護師さんへの憧れが、私の原点です。困っている人の役に立ちたいという思いと共に、一人の女性として自立して生きたいという希望を持ち、国家資格を持つ看護師を目指しました。地元新潟を離れて東京で挑戦したいと武蔵野大学への進学を決意。看護師だけでなく保健師や養護教諭などの資格も取得でき、将来の選択肢を広く持てる点が決め手でした。

【「人生」に寄り添う プライマリーナーシング】

大学での一番の学びは実習での経験です。関わりが難しかった患者さんに対し、その方が大切にしている習慣を尊重してケアの時間を調整したところ、心を開いてくださるようになりました。看護とは病気を治すだけでなく、人生そのものである「生活」を支えることだと気づいたのです。この理想を実現するため、1人の看護師（プライマリーナース）が患者さん1人を入院から退院まで一貫して受け持つ「プライマリーナーシング」を実践している虎の

門病院を選びました。働くなかでも、患者さんの人生の一部としての入院生活に寄り添っている実感があります。いろいろな角度から患者さんの人生を理解し、ニーズを知る必要性を強く感じています。

【すべての患者さんが 「かけがえのない大事な人」】

現在は呼吸器内科で、がん治療や手術管理、症状緩和など、多岐にわたるケアに邁進しています。日々の業務では、患者さんを自分の家族のように尊重することを心がけています。なぜなら、目の前にいる患者さんは患者である前に、ご家族にとって「かけがえのない大事な人」だからです。患者さんの訴えの奥にある想いまで汲み取ろうとする姿勢は、学生時代の学びが土台にあります。医師やリハビリ職など多職種で連携するチーム医療で患者さんを支えている実感があるときにやりがいを感じます。

【未来の自分を支える 「理想の姿」と広がる選択肢】

これまでの7年間、患者さんの命と向き合うなかで辛いときもありましたが、支えになったのは「なりたい自分」という明確な目標と、想いを共有できる仲

間の存在でした。これから進路を選ぶ皆さんには、ぜひ高い志を持ってほしいです。将来を考える時には、より選択肢が広がる道を選んでみてください。必ずしも明確な進路を決められない段階でも、理想の姿を胸に、将来の自分へ可能性を手渡すことで自ずとキャリアが築かれていきます。



患者さん一人ひとりが大切にしていることを尊重しながら看護をしています。

未来を拓く、看護の探求

【入試センター】03-5530-7300



@musashino_univ



@MusashinoUniversity



東京都 済生会 中央病院 (薬剤師)

|| 関連キーワード || 病院薬剤師・チーム医療・GICU



東京都済生会中央病院

<https://www.saichu.jp/>

薬剤部

栗山 順子さん

武蔵野大学

薬学部 薬学科 卒業



AMBITIOUS
#432

気さくに相談ができる距離の近さ
チーム医療の現場で
薬剤師として働く

【薬剤師を志し新設学部で学ぶ】

父がMR(医薬情報担当者)の仕事をしており、薬の資料が多い家で育ちました。文理選択で理系に進んだものの進路に悩むなかで「薬が体でどう働くのか」と興味を持ったのが薬剤師になる原点です。安定した職業という魅力もあり、地元の徳島から「一度は東京へ出なさい」という両親の言葉に背中を押されて上京を決めました。武蔵野大学を選んだのは、薬学部が新設されて一期生を募集していたためです。自分たちで学びながら作っていいならより面白いだろうと考えました。

【「一生学び続ける」覚悟と責任】

入学式で学部長から贈られた「どうかここにいる諸君は、一生学び続けてくれたまえ」という言葉は今も肝に銘じています。当時は「薬剤師の資格を取れば安泰!」と思っていたので衝撃でしたが、産休・育休を経て時短勤務で復帰した際、新薬の増加や医療の進歩を目の当たりにし、その真意を痛感しました。私の提案が命を左右するか

もしれないという責任感を持ち、日々研鑽に努めています。

【チーム医療で 患者の希望に沿う治療を】

私は医師や看護師など多職種と密に連携する「チーム医療」に憧れ、大学病院の研修生を経て前職の病院で働いたのちに、現在の東京都済生会中央病院へ転職しました。大きな病院だと最初の数年は非常勤が多いなかで最初から正職員の募集だったことや、医師・看護師・栄養士・リハビリテーション技士など横の繋がりがあがる環境が魅力でした。現在はGICU(総合集中治療室)での薬物モニタリングや手術室での麻酔調製、糖尿病の教育講義など幅広い業務を担っています。調剤するだけでなく副作用や医療費を考慮して薬を減らす提案もします。チームで最善を尽くして患者さんの希望に添う治療で支え、退院される姿を見ることがやりがいです。

【迷いのなかでも 「正しいと思う選択」を重ねて】

私は高3の夏まで進路を決められず、浪人して希望とは違う大学へ通った

時期もありましたが、そこで出会った先生の「間違えたと思う道でもその時々で正しいと思える選択をすれば、将来的にそれは正しい道になる」という言葉に救われ、再び薬剤師の道を志しました。進路が明確でなくても、今を楽しみながらその瞬間ごとに後悔のない選択を重ねて道を切り開いてください。



患者さんの不安な気持ちに寄り添い、生活を支えることを心がけています。

変化の時こそ、じっくり学ぶ

【入試センター】03-5530-7300



@musashino_univ



@MusashinoUniversity



こんな人におすすめ

- ✓ 製品開発、空間デザインや社会課題の解決策を考えてみたい人
- ✓ 工学とデザイン、どちらも学んでみたい人
- ✓ 「複数」領域の知識とスキルを得たい人

工学 × デザイン

創発デザイン工学環 2027年4月開設予定(設置構想中)

POINT 1

「まずやってみる」が基本。 実践と思考を繰り返す循環型の学び

これまでの学びは、基礎から積み上げ方式で学んでいき、高学年から社会課題に対する解決策の創出に取り組むかたが一般的でした。一方、創発デザイン工学環は、発見したことをすぐにデザインに落とし込む学びがポイント。「つくる」と「考える」が連動した循環型の学びが大きな特徴です。



POINT 2

3学部の実績をベースに 多様な進路を目指せる

東京都市大学は、前身の武蔵工業大学の時代から、確かな技術力を有する人材を毎年社会に輩出し、その実績は学生の就職に大いに生かされています。理工学部・建築都市デザイン学部・情報工学部を連携協力学部の基盤をもとに、多くの企業が重視する「創造性」を身につけた創発デザイン工学環の卒業生は、多様な進路での活躍が期待できます。

【2025年度就職率】

理工学部 98.5% / 建築都市デザイン学部 99.3% / 情報工学部 95.9%

▶ 目指せる進路

製造・プロダクト開発	建築・都市デザイン	企業・スタートアップ
IT・デジタルサービス	ビジネス・コンサルティング	研究・教育機関

理工系3学部を横断する「学部等連係課程」の学び

「学部等連係課程」とは、大学内の学部等が連係して教育課程を編成する新しい仕組みです。創発デザイン工学環では、既存の理工系学部である理工学部・建築都市デザイン学部・情報工学部を連携協力学部とした体制を用意。3学部の横断を基盤としながら創発デザイン工学環独自のプログラムを展開します。

創発デザイン工学環の
詳細はこちら！



※設置構想中であり、今後内容が変更となる可能性があります。